

京	都	府
1・15 ㊤救世軍系の新事態研究会が富小路四条下ルの京都四条教会（元救世軍四條小隊）で西日本教師会を開催、救世軍の再建にのり出す。 京都 1・7	6・3 ㊤西本願寺が宗教教育研究会を開催。 中外 6・5	
1・22 ㊤府、内政部社寺課を廃止。社寺関係は、新設の社会教育課所管となる。 ⁽⁴⁾ 府達 22号	6・13 ㊤石黒観道、浄土宗西山派誓願寺本山第72世に晋山。 中外 6・8	
2・6 ㊤西本願寺の同和運動団体、一如会が発展的解散を決定、新民主主義の意義に徹した人間礼讃・同互運動を展開する方針を決める。中外	6・一 ㊤生長の家京都教化部が烏丸通一条下ルに移転。 中外 6・19	
2・7 ㊤大木愛善苑新発足。大本事件史	7・11 ㊤西本願寺、海外引揚布教使世話事務所を開設。 中外 7・24	
2・20 ㊤部落解放全国委員会、部落解放人民大会を烏丸丸太町下ル新聞会館で開催。不合理な人間差別の撤廃排除のため水平・同和の従来の宗派的観念的競争形態を揚棄し、全人的民主的運動を真に歴史的に大同団結し新しく展開することを決定。 中外 2・19	7・19 ㊤西本願寺、罹災寺院・教会復興事務所を開設（事務担当は庶務部で約1,000カ寺院復興の本部となる）。 同上	
2・一 ㊤経塚淳照、相楽郡大河原村童仙房に東本願寺農場を開く。 中外 9・27	7・20 ㊤日本宗教連盟京都支部を結成。	
3・10 ㊤臨済宗妙心寺派が同派門末会で別派独立を決議、4・1 同宗派宗制を制定。 中外 3・13	7・22 ㊤東本願寺、引揚孤児保護運動に着手。 中外 7・30	
3・13 ㊤府、宗教法人令に関する講習会を知恩院で開催。 稲荷年表	7・27 ㊤真宗大谷派女子仏教青年会、戦争中活動を中止としていたが、この日再出発。 中外 7・27	
3・16 ㊤府社以下の神社が神社本教を設立、菅大臣神社で創立発会式（教務所は出世稲荷神社内）。 中外 3・19、4・19	8・25 ㊤金光教の押小路教会設立。 金光教年表	
3・26 ㊤青蓮院門跡に太田深澄を選任、4・23 青蓮院に晋山。 中外 3・27	9・8 ㊤知恩院から松濤基作曲の音楽法要を中継放送、仏教の儀式に新方向を示す。 日出 9・3	
4・15 ㊤天理教河原町大教会で教祖60年祭。 河原町大教会史	9・8 ㊤府下引揚者大会で引揚者の住宅難を解決するため京都市の全寺院の開放を決議。 中外 9・17	
4・22 ㊤㊤神・仏・基三教懇談会、知恩院で開催、海外引揚同胞の救援運動を三教合同で行なうことを決定。 中外 4・24	9・13 ㊤浄土宗新宗制案「浄土宗規則要綱試案」を発表。 中外 9・20	
4・一 ㊤同志社教会が家庭会を開始、5月から聖書研究会も始める。 同志社教会90年小史	9・15 ㊤知恩院、仏教文化研究所を開設。所長は望月門跡、宗学・仏教学・教化の3部門を設け、恵谷隆戒・塚本善隆・三枝樹正道が各部長。 中外 4・9	
4・一 ㊤西本願寺、京都女子専門学校に女子大学を創設、女専は従来通りで予科（3年制）と学部（3年制）をおく。 中外 1・25	9・15 ㊤同志社教会が基督教講座を開講、毎日曜日に初級・上級の2組が開かれる、連続10回、以後毎年開催。 同志社教会90年小史	
5・26 ㊤府社会教育課主催の青年団と新婦人会運動への宗教教化懇談会を檀王法林寺内青年の家で開催、同会を宗教教育懇談会と呼称。 中外 5・22、28	9・18 ㊤京都の神・仏・基3団体の海外引揚邦人救援資金57,419円のうち3万円を府同胞援護会支部に寄付することに決定、残額は15カ所の引揚者収容寮を童話・紙芝居・音楽・演劇で慰問し、一方恒久的に聖典・経典・宗教雑誌を送ることになる。 中外 9・20	
5・26 ㊤同志社教会で礼拝者が急激に増加。礼拝堂を神学館から栄光館のフェウラーチャペルに移す。この日、同チャペルで新入学生歓迎礼拝式、中絶していた聖歌隊の合唱を再開。 同志社教会90年小史	9・一 ㊤高野山真言宗堀川別院、弘法教授会を設置、社会的福利事業に着手。 中外 9・4	
5・一 ㊤一灯園機関雑誌『光』5月号から、2年ぶりに再刊。 中外 4・9	10・10 ㊤伏見稲荷付属講社大祭、稲荷山の歌・稲荷音頭を発表。 稲荷年表	
5・一 ㊤西本願寺の一如会を発展的解消し、本山社会部が社会教化委員会を設け、委員制により新運動を展開することに内定。 中外 5・28	11・16 ㊤化主高井観海、真言宗智山派総本山智積院に晋山。 中外 9・25	
	11・26 ㊤真宗大谷派京都門徒会結成。 中外 11・29	
	11・26 ㊤西井半次郎（天理教河原町大教会理事）没。 河原町大教会史	
	12・2 ㊤岡田戒玉・菊入頼如ら、府下寺院代表者50余人、国宝修理の窮状を打解するため国宝建造物保存費増額を文部省に申請。 中外 12・6	

参	考	日	本
(1) 戦後府の宗教事務所管課変遷		1・1	戸田城聖、創価学会を再建。
昭21・1・22 内政部社会教育課		1・31	神祇院官制廃止。
昭23・5・25 教育部文化課		2・2	宗教法人令改正、神社を法人中に加える。
昭24・1・21 総務部学事室		2・2	明39法律第24号官国幣社経費に関する法律など廃止の件公布（社格の廃止、従前の国有地たる神社境内地（公用地）の神社無償貸付などを含む）。
昭25・1・20 総務部学事課		2・3	神社本庁設立。
昭26・6・26 総務部文教課		3・11	大西愛治郎、天理本道（のち、ほんみち）を再建。
(2)		3・一	伊勢神宮護持のため、神宮奉賛会設立準備委員会発足。
年月日	法人名	認 証	備 考
昭21・2・24	真言宗御室派	昭27・8・5	本山は右京区仁和寺、古義真言宗から分離。
昭21・2・23	真言宗泉涌寺派	昭27・10・2	本山は東山区泉涌寺、真言宗から分離。
昭21・3・1	真言宗智山派	昭27・7・28	本山は東山区智積院、真言宗から分離。
昭21・3・1	真言宗山階派	昭27・7・17	本山は東山区勸修寺、真言宗から分離。
昭21・3・1	修 験 宗	昭28・4・10	聖護院を中心に天台宗寺門派から分離。
昭21・3・14	真言宗東寺派	昭29・8・21	総本山は南区東寺、真言宗から分離。
昭21・3・27	臨済宗建仁寺派	昭27・10・1	総本山は東山区建仁寺、臨済宗から分離。
昭21・3・27	臨済宗妙心寺派	昭27・6・10	総本山は右京区妙心寺、臨済宗から分離。
昭21・3・27	臨済宗南禅寺派	昭27・3・27	総本山は左京区南禅寺、臨済宗から分離。
昭21・4・5	臨済宗相国寺派	昭27・10・1	総本山は上京区相国寺、臨済宗から分離。
	臨済宗東福寺派	昭27・10・1	総本山は東山区東福寺、昭16に合同した臨済宗から分離。
昭21・10・10	黒谷浄土宗	昭27・9・15	大本山は金戒光明寺、浄土宗から分離。 宗教年鑑 昭44
↗ 12・8	㊤大本教が愛善苑と改称し復活後初の全国信徒代表会議を亀岡で開催、瑞祥館竣工式も執行（信徒2,000人集まる）。 京都 12・9	12・18	㊤浄土宗全国民主化大会を華頂会館で開催。 中外 12・13
	12・27 ㊤井村日威没、71歳（立正大学前学長・日蓮宗前管長・京都妙満寺住職）。 京都 12・27		
	この年		
	▷ ㊤仏教各宗派の分派独立すすむ。 ⁽²⁾		
		11・3	日本国憲法公布。昭22・5・3施行。
		11・16	「町内会・隣組などによる神道の後援および支持の禁止について」を達する。
		この年	
		▷	明治教、実行教から独立。
		▷	佐久間俊一、御岳教所属の統一教会を改め日之教を設立。
		▷	御木徳一の門下橋本郷見、徳光教会（神道大教所属）を独立させ、宗教法人神道徳光教会本部とする。昭22自然社中央教堂と改める。昭24包括法人自然社設立。
		▷	之木勇、「つとめの会」を組織、昭25、宗教法人大日大立之理教団を設立。のち「一元の宮」と改称。
		▷	丸山教独立。
		▷	石井岩吉、心霊会教団本庁設立。

京	都	府
1・14 ㊟金光教の梅津教会設立。金光教年表		
1・30 ㊟国際宗教同志会、東本願寺で結成（国際的かつ超宗派的に同志協力して宗教的平和日本を建設する目的）。中外 2・1	5・一 ㊟毎日曜、烏丸四条大建ビルの米軍教会室でクリスチャン=サイエンス説教会、日本人の入室も許される。中外 5・3	
1・一 ㊟京都愛善苑（大本教）が住宅難解消のため会員中の建築業者を動員し愛善組を組織、住宅建設に取り組む。京都 1・21	6・8 ㊟同志社教会にグイン牧師による英語のバイブルクラス開かれる。同志社教会90年小史	
1・一 ㊟知恩院の仏教文化研究所内に知恩院第75世鶴飼徹上人顕彰会を設立。2・21 知恩院古経堂で浄土教芸術の展覧を実施。中外 1・10	6・9 ㊟上京区御前通一条下ルの宥清寺を本山とする本門仏立宗を設立し、法華宗から分離。昭27・7・1 宗教法人の認証を受ける。仏教年鑑 昭44	
2・21 ㊟右京区嵯峨天竜寺芒ノ馬場町の天竜寺を総本山として、臨済宗天竜寺派を設立し、臨済宗から分離、昭27・10・1に宗教法人の認証を受ける。仏教年鑑 昭44	6・10 ㊟東本願寺、女性てん落者救護収容事業として洛北紫草苑を開設。中外 6・5	
3・7 ㊟京都和敬会、都市の子供を社会悪から守るため日曜学校の開設、少年相談所の設置などで寺院を解放するよう各宗に協力を要請。中外 3・11	6・12 ㊟浄土宗一元化を期する全国大会を華頂会館で開催。中外 6・14	
3・18 ㊟東本願寺の大谷光暢と裏方智子、音楽学校「大谷楽苑」を設立。中外 3・15	6・16 ㊟一灯園の外廓団体京都光友会、西田天香の参議院議員進出を契機に園主を迎えて再起を決する。中外 6・14	
3・27 ㊟浄土宗西山派宗会で同派が再び光明寺（西山）・誓願寺（新京極）・永観堂禅林寺の3派に分離。中外 3・29	7・8 ㊟河原町二条の高田京都別院炎上。中外 7・10	
4・20 ㊟浄土宗保育連盟、知恩院で結成（保育事業の重要性に鑑み全国の保育連盟を結成）。	7・8 ㊟左京区鞍馬本町の鞍馬寺を本山とする鞍馬弘教を設立し、天台宗から分離、昭27・9・17宗教法人の認証を受ける。仏教年鑑 昭44	
4・21 ㊟世界恒久平和祈願と大戦犠牲万霊追悼のために観音霊場33カ所の出開帳を新京阪沿線嵐山嵯峨方面の法輪寺・天竜寺・清涼寺・宝篋院・二尊院など16カ寺で実施。中外 1・17	7・27 ㊟京都の私学団体連合会開催。インフレと学制改革のため今後の私学の在り方につき協議し、翌年度の新制学校昇格問題につき、非戦災都市京都の私立高校全校が昇格することを期する。中外 7・29	
4・29 ㊟フラナガン神父来京、府庁で40余人の少年保護団体の代表者らと会見し子供たちの家庭外指導などについて懇談。午後同志社栄光館で講演。中外 5・1	7・28 ㊟京都宗教連合、宗教家中心の消費組合を結成、真生活協同組合として発足。中外 7・22、8・2	
4・一 ㊟松ヶ崎樋上町に聖公会の聖光教会を設立（大14スカイル女史により創設された日曜学校・聖書研究会の後身）。日本聖公会100年史	7・一 ㊟法華宗大本山妙蓮寺貫首に三吉日昭を決定。中外 7・15	
4・一 ㊟湯浅八郎が第12代同志社総長に就任（昭25・6 辞任）。同志社90年小史	7・一 ㊟東西両本願寺、現代語真宗聖典出版に着手。中外 7・15	
5・3 ㊟南桑田郡稗田野村竜潭寺住職江口快翁、同寺に児童の養護施設として少年保護園を設立（昭34・7・7 社会福祉法人、青葉学園となる）。仏教年鑑 昭44	8・4 ㊟日本宗教革新懇談会を平安神宮で開催（～5日）。稲荷年表	
5・8 ㊟全国仏教学生連盟、京都支部を結成（会長は森川智徳）。中外 5・6	8・15 ㊟天理教河原町大教会の婦人会が京都駅の便所掃除を奉仕。これより第2日曜日を「ひのきしん日」とする。河原町大教会史	
5・一 ㊟顕本法華宗（本山妙満寺）、日蓮宗から離脱独立。妙満寺貫首中川日史、独立を記念して妙満寺機関紙『妙塔』を創刊。中外 6・1、12、29	9・1 ㊟天沼俊一没（73歳）、日本建築特に寺院建築の功労者で古名刹の研究及び復興に尽す。中外 9・6	
	9・10 ㊟天台宗妙法院門跡に三崎良泉を選出（同宗宗務長）、11・3 晋山。中外 9・11	
	9・上 ㊟大谷大学職制改革により昭6以来の学監を廃止し学務・庶務両部と図書館長の3本建てとし、学務部長に名畑応順、庶務部長に福原一來、図書館長に多屋頼俊を任命、さらに重要決議機関の評議員制も改める。中外 9・4	
	9・15 ㊟真宗大谷派 臨時宗議会で8,620万円の「蓮如上人遠忌法要特別会計予算案」を可決（～17日）。中外 9・16	

京	都	府	日	本
			1・21	新興宗教爾宇教祖爾光尊・幹部元双葉山・呉清源ら、金沢で食糧管理法違反により逮捕。
			1・一	仏教連合会、全国の高専大学に仏教青年会運動を奨励。
			2・一	大森禅戒没。
			3・一	天理教、各地に精神復興地方大会開催。
			4・2	社寺など宗教団体使用の地方公共団体有財産の処分に関して指示。
			4・8	日本仏教讃仰会を財団法人として認可。
			4・一	友松円諦、東京に神田寺を創立し、真理運動本部を併置。
			5・2	社寺などの国有境内地処分に関する法律および無償で貸し付けの財産処分に関する法律施行。
			5・5	築地本願寺で全日本宗教平和会議開催、宗教平和宣言を決定。
			5・17	「町内会・隣組などの廃止と神社について」を達する。
			5・18	大阪市住吉区我孫子町の観音寺が真言宗勧修寺から離脱し、観音宗を設立。
			5・一	全国学生仏教青年連盟の西部連盟結成。
			5・一	力久辰斎、佐賀県で天地公道善隣会（のち善隣会）を開教。
			6・15	宇井伯寿、『仏教汎論』上（下昭23・8・15）を刊行。
			6・一	文部省宗教課、宗教法人令の徹底を期して『宗教時報』（月刊）を創刊。
			7・3	仏教社会主義同盟、供出仏具復元運動に着手。
			7・4	奈良の東大寺本部焼失。
			8・上	清沢満之の精神主義による真宗大谷派の教学方針を決議。
			8・14	須貝止（日本聖公会主教）没。
			8・18	天理教、全国一斉路傍講演デー復活。
			8・一	仏教連盟、各宗派に仏教徒に課すべき新日本建設運動の具体案を提案。
			8・一	岡田茂吉、熱海で日本観音教団（のち世界救主教）を再建。
			9・5	社寺境内地令・寺院保管林処分審査会令公布。
			11・22	仏教革新教化連盟、神田寺で結成。この年
			▷	雲丹亀いと子、神教教（のち神道斯教）を設立。
			▷	智覚山民主教教団、御岳教から独立。
			▷	水野房（神道惟神教開祖）、大連市から引揚げ、昭23神ながら教を宗教法人として設立。
			▷	大塚寛一、神霊教を開教。
9・29 ㊟各労組の代表ら14人、河原町天主公会室でスタインバック神父と会見、教会側が生活困窮者らに援助を約束。中外 10・2				
9・一 ㊟府仏教会、寺院の保管林、境内地問題につき寺町高辻の承善寺に相談所を設置。中外 9・9				
10・7 ㊟真言宗御室仁和寺伽藍修理をめざし仁和会を設立決定（予算315万円）。中外 10・9				
10・14 ㊟西本願寺伝道院、竜谷大学内校舎で開設。中外 10・9				
10・21 ㊟鞍馬寺住職信楽香雲、鞍馬弘教（鞍馬山信者が結ぶ宗教結社）の立教奉告祭開催。中外 10・15				
10・28 ㊟真宗仏光寺（仏光寺派本山）旧宗務所を改造し、仏光寺診療所を開設。中外 10・30				
11・3 ㊟宗教平和会議の近畿地区大会を知恩院で開催（～5日）。中外 9・2、10・4				
11・10 ㊟京都市大蔵会、戦争中絶していたが復活し大谷大学を開場に開催（出陳宝物・文書は明年450回忌をむかえ蓮如上人に困んだものおよび叡山版に関するもの）。中外 10・23、11・6				
11・11 ㊟西本願寺、全国仏教青年連盟を結成、12日仏教婦人会総連盟を結成。中外 9・23				
11・16 ㊟日本仏教学協会を竜谷大学で昭16以来7年ぶりに開催。中外 10・16				
11・19 ㊟府の神仏基連合会が発展的に解消して新に府宗教連盟を結成（12・9 同連盟規約制定、事務所は東本願寺内、委員長に大河内貫静を推選）。中外 11・22、12・13				
11・一 ㊟西本願寺門主大谷光照を公職追放に決定、戦争中翼賛壮年団京都市団長であったため。中外 11・11				
12・8 ㊟東山区林下町の知恩院を総本山とする宗教法人浄土宗本派を設立し、浄土宗から分離、昭27・4・7に認証を受ける（昭37・3・27に再び浄土宗と合同）。中外 12・11、16、京都 5・3				
12・15 ㊟真宗大谷派仏教青年連盟、岡崎別院で結成。中外 12・23				
12・24 ㊟メリ=フローレンス=デントン女史（日本女子教育の功労者）、同志社構内で没（89歳）。昭23・1・23、栄光館で社葬。同志社90年小史				
12・27 ㊟中京区新京極通り三条下ルの誓願寺を総本山とする宗教法人浄土宗西山深草派を設立し、浄土宗西山派から分離、昭27・7・31認証を受ける。				

京	都	府
1・6 ㊤柏樹徹没、77歳（真宗大谷派日曜学校創立期からの布教活動家）。 中外 1・13		4・一 ㊤日刊「黄檗文化」発行。また黄檗山万福寺を中心に門前の東宇治町に呼びかけ、生活共同組合を結成。 中外 2・10
1・7 ㊤左京区永観堂町の永観堂禅林寺を総本山とする宗教法人浄土宗西山禅林寺派を設立し、浄土宗西山派から分離。 仏教年鑑 昭44		4・一 ㊤ウィリアムス聖書学校が聖公会京都教区教務所構内に開校（最初の学生2人）。 日本聖公会100年史
1・7 ㊤天理教河原町大教会員が同胞引揚促進10万人署名運動に協力して街頭に進出。 河原町大教会史		5・3 ㊤修験宗大本山聖護院の独立復興記念を執行し、聖護院婦人会を結成。 中外 5・8
1・15 ㊤府宗教連盟、釈穀邸で発会式を挙げる。 中外 1・3		5・6 ㊤伏見田中神社の神輿が渡御中に市電と激突、御霊代を唐櫃に移して伏見稲荷神社に還幸。 稲荷年表
1・19 ㊤出口王仁三郎（本名上田喜三郎、大本教愛善苑主）没（78歳）。 京都 1・20、大本事件史		5・16 ㊤同志社教会岩倉伝道所を同志社経済専門学校礼拝堂に開設（昭24・4 経専の今出川移転とともない廃止）。 同志社教会90年小史
1・25 ㊤真宗大谷派青年と在家の有志が六条道場で超宗派的な純正信仰の運動を展開するため真人社を結成（主任は訓覇信雄、副主任松原祐善）。 中外 1・29		5・27 ㊤国際宗教同志会を銀閣寺で開催。ヴロン=ダブニー（米国アンドヴァ=ニュートン神学校長）が「世界平和に対する宗教の使命」を、ルース=イサベル=シペリー（米国外国伝道協会教育部長）が「宗教教育と行の問題」を講演。 中外 5・22
2・6 ㊤近畿宗教連盟、東本願寺で結成。 中外 1・24		5・一 ㊤㊤国有財産法による京都の社寺地約300万坪私下処分開始。 京都 2・17
2・14 ㊤全国仏教学生連盟、京都女専体育館で第2回総会開催（15日創立1周年記念大会）。 京都 2・8、中外 2・10		6・17 ㊤小早川随康没（前西山光明寺派管長）。 中外 6・26
2・22 ㊤天理教河原町大教会で直轄教会長・役員・准員が斯友会を結成（従来の斯友会は直属会と改称）。 河原町大教会史		7・1 ㊤関西大蔵会、戦時中中絶されていたが復興第1回展覧会として天平写経特別展を京都博物館で開催（～15日）。 中外 7・6
2・29 ㊤伏見稲荷神社の生成殿落成奉告祭、市川猿之助ら歌舞伎を奉納。 稲荷年表		7・13 ㊤望月信亨没、80歳（知恩院門主、本派浄土宗管長）。 中外 7・15
2・一 ㊤天理教河原町大教会60年記念特別巡教開始。 河原町大教会史		7・15 ㊤西本願寺、軍政部の警告（6月）に基づき一派の非民主的封建的なものを一切駆逐する方針で宗門刷新委員会を開催（～17日）。 中外 7・20、朝日年鑑
3・一 ㊤臨済宗相国寺派宗務総長に樋口琢道（和教学園長）が就任。 中外 3・2		8・2 ㊤日職組結成計画者の西本願寺役員6人松原達文らを左遷的に移動したという理由で、西本願寺宗務総長千葉康之を相手どり労働組合法第11条違反事件として提訴したが、京都地方労働委員会の斡旋で西本願寺が白紙に還元することになり解決。 中外 8・5
4・1 ㊤三条大橋東詰の檀王法林寺住職信ヶ原良文が戦後の不安な市民の生活から子供を守るため同寺を開放、学童部と幼児部を設置し昭23・1児童福祉法により学童部をだん王子の家と名付ける。		8・6 ㊤京都府宗教連盟、東本願寺で文部省の宗教課廃止と宗教法人令の廃止に対して廃止反対の意志を表明。 中外 8・10
4・16 ㊤深草浄土宗を浄土宗西山深草派と改名。 中外		8・14 ㊤府教育部、宗教教育を画一的強制的に実施することを禁止。遠足引率教官の神社参拝の指導や児童生徒を宗教的雰囲気にもれさせることなど禁止。 中外 8・14
4・16 ㊤西本願寺、保育事業協会を設立。敗戦後の重要な精神運動として幼児保育事業を取り上げ全教団挙げて実施することになり、その促進の中心として全国の関係者を糾合。 中外 4・1		8・30 ㊤西本願寺宗務総長に佐々木正熙を選任。 中外 8・31
4・27 ㊤上京区寺町通広小路上ルの蘆山寺を総本山とする円浄宗を設立し、天台宗から分離、昭27・9・30宗教法人の認証を受ける。		8・下 ㊤法華宗本山本能寺に仏教青年会を設立。 中外 9・10
4・28 ㊤大谷瑩誠没、71歳（大谷大学学長、真宗大谷派宗務総長）。6・4後任藤岡了淳を文部省認可。 中外 5・1、13		
4・一 ㊤西本願寺本山職員組合結成、宗教団体初の労働組合。 朝日年鑑		

京	都	府	日	本
8・一 ㊤知恩院教学部、毎月25日仏専・家政・華頂・東山の各学校の全生徒を本山に参拝させ、音楽法要による勤行を決定。 中外 8・26			2・14 「神道指令の違反について」を達する。	
8・一 ㊤臨済宗妙心協会設立。製菓・梵鐘・仏具などの商品販売による利潤を宗団の教化費に充てる方針、会長後藤亮一。 中外 8・21			2・一 真宗大谷派の仏眼協会を東京で正力松太郎らが復興。	
9・4 ㊤知恩院門主に岸信宏を決定。 中外 8・19、9・4			3・1 諸井慶五郎、天理教初代教務総長に推挙。	
9・8 ㊤竜谷大学の教職適格審査委員会、現審査委員文学部教授月輪賢隆の追放を発表。 中外 9・9			3・24 天台寺門宗に修験局を設置。	
9・14 ㊤大谷派真身会（同和事業団体）再出発。 中外 9・18			3・26 宗教連盟主催の宗教教育研究会、宗教と教育に関する特別機関を設置。	
9・21 ㊤知恩院の本派浄土宗帰属に対する無効確認訴訟が宗務所側から提出され、第1回公判が京都地裁で開廷。岸知恩院門主への訴訟名義変更などで閉廷。 同上			3・31 真言宗各派から離脱した真言宗13派が密教連盟を結成。	
10・1 ㊤京都市同和問題協議会を結成。委員長に京都ユネスコ協力会の湯浅八郎、副委員長は部落解放委員会の木村京太郎を選出。 中外 10・5			4・22 大蔵省・文部省、国有境内地の木竹伐採の禁止を通達、5・21再度その取締りを通達。	
10・2 ㊤京都社会福祉協会、創立30周年記念として東本願寺で府・京都軍政部協賛と市・府国民たすけあい募金委員会後援で社会事業大会を開催。 中外 9・28、10・5			4・30 「宗教団体に対し勅令第101号適用上の取扱について」を達する。	
10・5 ㊤大谷光瑞（西本願寺前門主）没、73歳。 中外 10・7			4・30 文部省、宗教団体は公職追放の枠外と通告。	
10・19 ㊤天理教河原町大教会60年記念祭。 河原町大教会史			4・一 ニール主教（聖公会）来日。	
11・6 ㊤国際キリスト教大学米国協力委員会事務長のフィザー博士来京、京都銀行協会で国際キリスト教大学後援会京都支部結成式を挙げる。 京都 11・7			4・一 東京大学教授ら、『仏教』（季刊）を創刊。	
11・22 ㊤㊤文部省、公立学校に社寺と関係する授業を一切中止するよう通牒。京都女子師範付属小学校、比叡山延暦寺宿坊の宿泊予定を中止。 京都 7・23			5・12 日本聖公会の八代斌助・柳原貞二郎・蒔田誠の3主教、ランベス会議に出発。同日青山聖三一教会で復帰式行なわれ、合同した教会はほとんど復帰。	
11・一 ㊤妙心寺派外郭信徒運動を全国的に展開している花園会運動について檀信徒代表者協議会を開催。会員50万人を獲得することを決議。 中外 11・18			5・17 日本基督教協議会（NCC）、新教諸教派・諸団体により設立される。	
12・6 ㊤西本願寺法制審議委員会が僧俗2院制を採用し、連枝制を廃止。金銭を基調とする僧序堂班を廃止し僧俗の本分である学問・徳行・教化力などの諸点により序列を制定。本山講を門徒講に改称。 中外 12・11			5・21 大阪の四天王寺金堂落成。	
12・16 ㊤京都古文化保存協会、民間団体として結成。これまでの府と京都市における京都国宝保存協会・京都名苑協会は、公的機関が社寺協会に関係することを禁止され自然解消。 中外 12・2、16			5・31 墓地、埋葬などに関する法律公布。	
12・一 ㊤鈴木大拙、大谷大学に東方仏教徒協会を創設し、かつ英文仏教研究誌の『イースタン=ブディスト』を再刊することになる。 中外12・2			6・28 仏教社会事業研究会と仏教社会事業連盟を再興するため増上寺で協議会を開催。	
			7・7 文部省、「学習指導要領社会科 編取扱いについて」の通牒により、教師が公立学校の生徒を引率する社寺訪問、宗教家の校内講話等を禁止（昭24・10文化目的のためには許可となる）。	
			7・15 教育委員会法公布（宗教行政事務、知事から教育委員会へ移管）。	
			8・25 全日本観光連盟近畿・山陰支部、文部省通牒による児童の神社仏閣参拝禁止を緩和するための交渉を決議。	
			8・30 日本宗教連盟、文部省の社会科通牒により社寺所有の文化財が公立学校の教育から閉め出されるため、その緩和を文部省に陳情。	
			9・8 天照皇大神宮教祖北村サヨら、数寄屋橋で「無我の舞」をまう<踊る宗教>。	
			9・23 教育刷新委員会、「社会教育と宗教の関係」についての対案を政府に答申。	
			11・27 米国聖公会主座主教代理ベントレー主教来日。	
			12・14 参議員議員大日本仏教会長の来馬琢道、国鉄各駅のクリスマスツリーは憲法違反と内閣に質問書。	
			この年 ▷ 会田ヒデ、世界仏道教設立。	

京	都	府
1・9 ㊤西本願寺、宗祖報恩講にあたり全国に散在する信仰団体の諸講社をとくに招く。同講社の横の連絡と本山への集合は初めての試み。 中外 12・25	5・1 ㊤嵯峨大覚寺断食堂を養老院として開設。 中外 5・26	6・4 ㊤ザビエルの「奇跡の腕」を迎え岡崎公園で荘厳ミサ。 京都年鑑
1・10 ㊤仏像作家連盟、仏像新作品展示会を河原町御池の中央ホテルで開催（～20日）。 中外 1・13	6・23 ㊤社会党府議の長岡 卷太郎、府会で「ザビエル400年祭巡礼団迎待分担金31万5,000円の府の支出は憲法違反ではないか」と質問、理事者側は「国際的儀礼として巡礼団に対して支出したものと」答弁。 中外 6・30	6・1 ㊤仁和布教研究会設立（会長森諦園）。 同上
2・1 ㊤竜谷・大谷・仏教・花園・種智院の各大学が新制大学として認可される。 官報	7・17 ㊤祇園祭で3鉢6山が巡行。 京都年鑑 昭25	3・12 ㊤山室軍平没後10周年記念講演会を同志社礼拝堂で開催、牧野虎次ら出席。 中外 3・12
3・6 ㊤京都府仏教社会事業協会、東本願寺で結成。 中外 3・10	8・15 ㊤何鹿郡佐賀村の村民250人がカトリックに集団入信。 中外 6・4、京都年鑑 昭25	3・13 ㊤伏見稲荷講社が講員を対象に第1回祭式祝詞講習会を開催（～17日）。 稲荷年表
3・12 ㊤山室軍平没後10周年記念講演会を同志社礼拝堂で開催、牧野虎次ら出席。 中外 3・12	9・5 ㊤杉本全機（臨濟宗妙心寺派管長）没、67歳。 中外 9・8	4・1 ㊤樋口琢道の和敬学園（相国寺北門前下之町）が児童福祉法による養護施設として認可。 仏教年鑑 昭44
4・1 ㊤北区紫野上草町の正法法華教会（大教寺）を中心とする正法法華宗を設立し、本園寺から分離。昭29・2・9 宗教法人の認証を受ける。 同上	9・20 ㊤真宗大谷派婦人法話会を大谷婦人会と改称し再興。 中外 9・8	4・1 ㊤北区紫野上草町の正法法華教会（大教寺）を中心とする正法法華宗を設立し、本園寺から分離。昭29・2・9 宗教法人の認証を受ける。 同上
4・1 ㊤東山区林下町の良正院が設立する大照学園、少年法改正で少年保護施設から聾児を対象とした施設に転換。昭37・4 精神薄弱児施設に変わる。 同上	9・22 ㊤同志社教会が戦後初の修養会を延暦寺宿坊で開催（～23日）。主題「信仰生活の確立」、80人参加、以後春秋2回開催を恒例とする。 同志社教会90年小史	4・1 ㊤東山区林下町の良正院が設立する大照学園、少年法改正で少年保護施設から聾児を対象とした施設に転換。昭37・4 精神薄弱児施設に変わる。 同上
4・1 ㊤嵯峨大覚寺門前に養護老人ホームの寿楽園を設立。昭27 社会福祉法人となり、昭37・4・6 寿楽園を健光園と改称。 同上	9・1 ㊤平安神宮で新たに平安講社を結成、中止中の時代祭の復活を計画。 中外 9・24	4・1 ㊤嵯峨大覚寺門前に養護老人ホームの寿楽園を設立。昭27 社会福祉法人となり、昭37・4・6 寿楽園を健光園と改称。 同上
4・13 ㊤府宗教連盟、府および市の教育委員を招き、教育家に宗教情操を理解させる対策、共産主義に対する対策を討議。 中外 4・7	9・1 ㊤高井観海没（智積院化主）。 中外 9・22	4・13 ㊤府宗教連盟、府および市の教育委員を招き、教育家に宗教情操を理解させる対策、共産主義に対する対策を討議。 中外 4・7
4・19 ㊤上京区の高野カトリック教会で一般信者のために講演会を開催（～24日）。 中外 4・19	10・2 ㊤同志社栄光館チャペルでプロテスタント日本伝道90年記念礼拝式を挙行、NHKにより全国に中継放送。 同志社教会90年小史	4・19 ㊤上京区の高野カトリック教会で一般信者のために講演会を開催（～24日）。 中外 4・19
4・22 ㊤伏見稲荷神社の神幸祭が旧来に復し21日間御旅所に駐輿。5・13 本社に還幸。 中外 4・16	10・11 ㊤山田無文、妙心寺塔中霊雲院晋山披露を行なう。 中外 10・4	4・22 ㊤伏見稲荷神社の神幸祭が旧来に復し21日間御旅所に駐輿。5・13 本社に還幸。 中外 4・16
4・29 ㊤日本聖公会宣教90年記念大会が平安女学院で開催（～30日）。同時に全国青年連盟第1回全国大会・婦人信徒大会も開催。 日本聖公会100年史	10・20 ㊤真宗大谷派が戦後初めての全教的教化活動を開始。 中外 10・22	4・29 ㊤日本聖公会宣教90年記念大会が平安女学院で開催（～30日）。同時に全国青年連盟第1回全国大会・婦人信徒大会も開催。 日本聖公会100年史
5・9 ㊤真宗大谷派、大谷派革新同盟結成大会（正法を中心とする真宗教団の顕現・封建制を打破して同盟教団の面目を發揮・地方の自主的教団機構の確立が目的）。 中外 6・11	11・6 ㊤神学者ブルンナー博士、同志社で「我は福音を恥とせず」と題して講演。 同志社教会90年小史	5・9 ㊤真宗大谷派、大谷派革新同盟結成大会（正法を中心とする真宗教団の顕現・封建制を打破して同盟教団の面目を發揮・地方の自主的教団機構の確立が目的）。 中外 6・11
5・14 ㊤東寺学園完成財団を設置し、1,000万円の事業資金を募財することになる。 中外 5・26	11・15 ㊤金光教立教90年記念近畿大会、京都新聞会館で開催。 中外 11・10	5・14 ㊤東寺学園完成財団を設置し、1,000万円の事業資金を募財することになる。 中外 5・26
	12・24 ㊤金光教の四ノ宮教会設立。 金光教年表	
	11・24 ㊤東本願寺、報恩講に秘蔵の宝物を公開、親鸞真筆もの「からまの念仏者」・「六字名号」・「二尊大悲本懐」など。 中外 11・15	
	この年 ▷ ㊤光華女子専門学校、短期大学として新発足、家政科と文学科を設置。 中外 10・20	

参	考	日	本
		1・8 蔵原惟郭（熊本バンド）没（88歳）。	
		1・25 仏教社会事業連盟、東本願寺で結成。	
		1・26 法隆寺金堂内陣漏電で火災、壁画12面焼失。	
		2・5 仏教社会同盟（東京）・新仏教同盟（名古屋）・仏教改新全国同盟（岐阜）、名古屋で全国仏教改新協議会を開催。	
		2・1 仏教社会同盟、自由人権協会弁護士団と提携し法律相談部を開催。	
		3・25 日本基督教神学専門学校を改編し東京神学大学設置。	
		4・24 全国仏教革新連盟結成。	
		4・28 日本基督教団、5カ年伝道開始にあたり富士見町教会で全国信徒大修養会を開催。	
		5・28 カトリック教会、聖ザビエル来朝400年記念式典を長崎・東京を中心に実施、ローマからザビエルの右腕が送られ、鹿児島から東京までを巡礼（～6・12）。	
		5・30 国際宗教同志会連盟（財）設立認可。	
		7・23 姉崎正治没。	
		9・4 聖公会第1祈禱書刊行400年記念、主教教書発布。	
		9・12 近畿仏教会連盟結成。	
		9・1 国際仏教協会結成（本部東京都中央区築地本願寺）。	
		10・1 文部省、法隆寺国宝保存委員会を設立。	
		10・4 大阪の仏教音楽関係者、関西仏教音楽協会を設立（マハヤナ合唱団の育成と仏教音楽の研究が目的）。	
		10・25 高島米峰没。	
		10・25 文部省、「社会科その他初等および中等教育における宗教の取扱いについて」を達する。	
		11・1 鈴木大拙、文化勲章を受ける。	
		この年 ▷ 宗教団体法廃止の昭21に44の宗教団体が363団体に急増。 ▷ 花山信勝、『平和の発見』刊行。 ▷ 日本聖公会の被戦災教会の復興つづく。 ▷ 宇野与之助、三本教を設立。 ▷ 正井碩益、仏法教を設立。	

京	都	府
1・14 ㊤日本仏教社会事業連盟、東本願寺で結成。 日出 1・19	6・1 ㊤林惠鏡、臨済宗東福寺派管長に就任、 11・5 東福寺に晋山。 中外 9・21	
1・28 ㊤日蓮法華宗、京都に設立。管長に北田日辰、宗務総監に泉日現を推選。 中外 2・14	6・1 ㊤寺町四条の大雲院本堂を東山七条の智積院へ移転し、同院跡に同院住職佐藤順道が仏教会館建設に着手。 中外 6・13	
2・3 ㊤下京区猪熊通梅小路ルに宗務本所を置く「げだつ講」を設立。昭29・4・2宗教法人の認証を受ける。 仏教年鑑 昭44	6・1 ㊤大塚節治、同志社総長事務取扱に就任。 同志社90年小史	
2・1 ㊤綾部町の宝住寺付近の集会所から貞観時代と推定される薬師如来像を発見。 中外 2・7	7・2 ㊤上京区衣笠の金閣寺（臨済宗相国寺派）国宝の三層金閣と閣内国宝物・足利義満自作木造自座像・運慶作観世音菩薩などの6点を焼失。原因は同寺住職村上慈海徒弟林承賢の放火による。 中外 7・4	
2・1 ㊤京都市内の百数十社が財政上の行き詰まりから神社本教を脱退。 中外 2・18	7・3 ㊤国宝金閣焼失のため京都古文化保存協会緊急理事会を妙法院で開催。府教育委員会も国宝対策を協議。金閣放火者の在籍する大谷大学でも緊急教授会を開き、社会に対する謝罪を表明。同大学学生会は、学生大会で特別調査委員会を設置。 中外 7・6	
2・1 ㊤伏見稲荷神社・平安神宮などが境内地の無償払下げを要求して運動。 京都 2・19	7・6 ㊤金閣寺住職村上慈海、辞表表明。 中外 7・8	
3・上 ㊤京都市内に2つのカトリック教会新設（金閣寺前に衣笠教会・西大路四条東入ルに西大路教会）。 中外 3・2	7・10 ㊤大谷大学学生会の金閣放火事件特別調査委員会は金閣放火犯人の林承賢を同学生会から除名することを決める。 中外 7・13	
4・1 ㊤臨済宗妙心寺派管長三浦承天が妙心寺に晋山。 中外 3・18	7・24 ㊤日本基督教団京都教区が毎週月・木・土の3日、出町・四条大宮・京阪四条の3カ所へ教会と信徒会を総動員し街頭伝道を実施（～8・31）。 中外 7・15	
4・18 ㊤日本聖公会第23総会を京都で開催（～21日）。 日本聖公会100年史	7・24 ㊤国宝金閣放火犯人の林承賢、京都地方裁判所陪審法廷で初公判、12・6 第2回公判。 中外 7・27、12・9	
5・7 ㊤関西仏教学生連盟結成（委員長大谷大学生今港良敬）。 中外 5・11	7・1 ㊤円山公園長楽寺住職牧野体山、聖一国師の布袋信仰再興運動を始める。 中外 7・25	
5・13 ㊤駐留軍司令部宗教資料係のウッダードが伏見稲荷神社で開かれた宗教法人法の説明会に出席。 稲荷年表	7・1 ㊤西本願寺国宝警備のため同寺内に下京消防出張所を設置することに決まる。 中外 7・15	
5・25 ㊤家政学園創立45周年記念式典挙行（～27日）。 中外 5・25	8・3 ㊤西本願寺の司法協会が保護司法により真宗本願寺派更生保護事業協会と改称し、敗戦後の新事態に対応。 中外 8・5	
5・26 ㊤天理教山城京都分教会、伏見区深草大亀谷東寺町65に設立。酒井康比古が初代会長に就任。 天理教要覧	8・4 ㊤京都宗教連盟の刑務所宗教教誨委員会、東本願寺で開催。京都市において最初の司法保護事業を実施。 中外 8・8	
5・28 ㊤第2回宗教人平和懇談会、京都労働会館で開催。平和声明文および綱領を発表。立命館大学長末川博、名大教授新村猛ら会員多数参加。 中外 5・30	8・7 ㊤西本願寺、仏教青年運動を復活するため戦後初の仏教青年幹部講習会を開催（～10日）。 中外 6・27	
6・1 ㊤知恩院布教講習所開設。 中外 5・24	8・11 ㊤右京区嵯峨大沢町の大覚寺を総本山として真言宗大覚寺派を設立し高野山真言宗から分離。昭27・7・31に宗教法人の認証を受ける。 仏教年鑑 昭44	
6・5 ㊤大覚寺、真言宗高野山から独立を決議。 中外 6・15	9・3 ㊤金閣寺再建復興を金閣復興後援会で決議。 中外 9・7	
6・18 ㊤鞍馬寺本堂再建上棟式挙行。 中外 6・17		
6・19 ㊤知恩院の仏教音楽法要採用に協力し各学校の仏教音楽担当者と仏教音楽家が教学部と仏教音楽活用の促進を決議。 中外 6・8		
6・25 ㊤第3回宗教人懇談会、京都市労働会館で開催。 中外 6・27		
6・30 ㊤真宗大谷派社会事業協会結成（会長に饒含雄が就任）。 中外 6・3		

京	都	府	日	本
9・29 ㊤左京区新高倉通り孫橋上ル法皇寺町の真如院を総本山とする日蓮本宗を設立し、日蓮宗（旧本門宗）から分離。昭28・6・28に宗教法人の認証を受ける。 仏教年鑑 昭44			1・17 波多野精一没（73歳）。	
10・12 ㊤智積院本堂再建上棟式執行。 中外 10・17			5・11 日本フェアビアン研究所開設。	
10・16 ㊤東本願寺・大谷婦人会（旧法話会）、東本願寺婦人会館に保育園を開設。 中外 10・17			5・26 セイロンのコロンボで第1回世界仏教徒会議を開催、日本から高階巖仙、中国から法舫などが出席。	
10・22 ㊤平安神宮の時代祭、7年ぶりに復活。 京都年鑑 昭27			5・29 世界救世教、脱税・贈賄などの容疑で捜索を受け教祖岡田茂吉検挙される。	
10・25 ㊤伏見稲荷神社に、その現所有地121,007坪・御旅所2,054坪・摂社田中社103坪などを国が譲与。 稲荷年表			5・30 文化財保護法公布（8・1施行）。	
10・28 ㊤左京区新高倉通りの要法寺が日蓮本宗を立宗。 中外 10・3			6・7 大森亮順没。	
11・2 ㊤大谷学創立50周年記念祭。 中外 10・24			6・21 日本亜細亜協会（在留欧米人の日本研究機関）、仏教講座を開設。	
11・2 ㊤左京区の黒谷光明寺、保育園を開設。 中外 10・31			8・1 東京の浅草寺が天台宗から分離し、聖観音宗を設立。	
11・3 ㊤京都の国際文化観光都市法の制定を記念して京都古文化保存会と市の関係団体が社寺の国宝無料公開を実施。 中外 10・31			9・3 ジェーン台風、社寺建造物を荒らす。	
11・8 ㊤上京区寺ノ内大宮東入ルの妙蓮寺を大本山とする本門法華宗を設立し、法華宗から分離。昭28・8・11宗教法人の認証を受ける。 仏教年鑑 昭44			11・12 法隆寺が法相宗から離脱し、聖徳宗を設立。	
11・30 ㊤黄檗宗宗務総長に鈴木浩滋を選任。 中外 12・5			11・1 日本仏教保育協会第1回総会を身延山で開催。	
12・4 ㊤大谷大学学長に仏教学教授山口益を決定。 中外 12・7			この年 ▷ キリスト教信徒数、プロテスタント教会208,009人・カトリック教会141,639人・ハリスト正教会32,889人。 ▷ 岸本英夫ら、明治中期以来日本のユニテリアン派・ユニバーサリスト派らが宗教的寛容を期し宗教自由宗教連盟を結成。 ▷ 神之導教独立。 ▷ 新興宗教136設立され、全国で566となり戦前の13倍を数える。	
12・26 ㊤東山区新橋通大和大路東入ルの一心院を総本山とする宗教法人浄土宗捨世派を設立し、浄土宗から分離。昭28・8・22認証を受ける。 仏教年鑑 昭44				
この年 ▷ ㊤5大学連合仏教社会事業研究会開催（竜谷大学・大谷大学・仏教大学・京都女子大学・光華女子大学）。 中外 12・21				

京	都	府
<p>1・17 ㊤乙訓郡向日町の石塔寺を本山とする本化日蓮宗を設立し、日蓮宗から分離。昭29・2・1宗教法人の認証を受ける。 仏教年鑑 昭44</p> <p>1・23 ㊤同志社で創立75周年記念行事として新島会を組織。 同志社90年小史</p> <p>1・29 ㊤故清沢満之の高弟であった梶鳥敏を真宗大谷派宗務総長に決定。 中外 1・30</p> <p>1・一 ㊤西山禪林寺経営の聖峰高校に癡狂者を收容し、同校在學生を東山高校に編入(同校の前身が癡狂院であったことによる)。 中外 1・16</p> <p>2・11 ㊤北米教会連盟幹事のマコンネル博士来京、訪問伝道を指導。丸太町教会をモデルにし2・12 から訪問を開始(～17日)。 中外 1・9</p> <p>2・14 ㊤臨済宗建仁寺派管長に竹田益州を選任。 中外 2・27</p> <p>2・15 ㊤京都花まつり奉讃会設立。 中外 2・20</p> <p>2・17 ㊤スタンレー=ジョーンズ博士、日本基督教伝道のため来日。平安女学院で行なわれた各派合同教職者懇談会に出席。3・18 同志社教会で講演。 中外 2・20、同志社教会90年小史</p> <p>2・23 ㊤普化宗明暗寺(東福寺山内)復興を虚竹禪師奉讃会で決議。 中外 2・27、10・20</p> <p>2・一 ㊤嵯峨の檀林寺遺跡保存会を結成(落柿舎前約10,800坪の地に市営住宅建設に着手したが、西田直二郎が檀林寺跡(基壇)であることを実証したので、嵯峨史蹟保存会側が同建設に反対するとともに保存会を結成)。 中外 2・10</p> <p>3・2 ㊤伏見区深草真宗院町の真宗院を総本山とする深草浄土宗を設立し、浄土宗西山深草派から分離。昭27・10・1宗教法人の認証を受ける。 仏教年鑑 昭44</p> <p>3・10 ㊤右京区大秦堀ケ内町の真言宗雲晴寺に蜂ヶ岡幼稚園を開設。 中外 4・7</p> <p>3・14 ㊤洛東真言宗泉涌寺大仏殿における大槩混会が戦後10年ぶりに復興。 中外 2・24</p> <p>3・18 ㊤洛南八幡町に建設する宗教公園着工記念法要を執行、また河原叡福寺から童形聖徳太子像を同町神応寺に迎え聖徳太子1330回忌法要を行なう。 中外 3・13、22</p> <p>3・19 ㊤右京区大原野石作西山の三鈴寺を本山とする西山宗を設立し、天台宗から分離。昭28・12・22宗教法人の認証を受ける。 仏教年鑑 昭44</p> <p>3・30 ㊤金光教の加悦教会設立。金光教年表</p> <p>4・5 ㊤西本願寺開宗記念にI・B・A(国際仏教協会)が、同寺御影堂で英語を主とする音楽法要を行なう。 中外 4・10</p> <p>4・18 ㊤仏教渡米1400年を記念して信州善光寺分身仏を洛北曼珠院で開帳(～24日)。 中外 2・10、4・19</p>	<p>4・24 ㊤大谷大学においてシャム国チュラロンコン大学から贈呈された釈迦仏像の奉安式を同学講堂で催す。日泰の仏教興隆を期し両大学のメッセージを交換。 中外 4・24、26</p> <p>4・一 ㊤㊤府下95社寺に合計146基の火災報知器を設置。設置費用は国・府・市補助。10・22、京都市が1基につき年間5,000円の補修費徴収を各社寺に通知、社寺代表抗議。 京都 10・25</p> <p>5・21 ㊤養老事業同和園30周年記念会開催。 中外 5・24</p> <p>5・一 ㊤西陣の釈迦堂(大報恩寺)解体修理で同本堂床下から守護神稲荷神をまつる施設を発見。 中外 5・25</p> <p>5・一 ㊤教会学校教師養成のため同志社教会で「日曜学校教師養成講習会」を開催。 同志社教会90年小史</p> <p>6・1 ㊤西本願寺布教所が10年ぶりに再出発を期し開所式を挙げる。 中外 6・5</p> <p>6・12 ㊤智山派智積院化主御嶽隆現の晋山式を挙行。 中外 5・10</p> <p>6・17 ㊤京都I・B・A(国際仏教協会)を橿筒通丹波口上ル正住寺で結成、竜大留学生アイドマン・谷大のフライガーら出席。 中外 6・21</p> <p>6・23 ㊤大谷大学講師佐々木教悟が同大学図書館から玄奘三蔵の「大唐西域記」西蔵訳を発見し、大谷大学仏教学会で発表。 中外 6・26</p> <p>6・26 ㊤府、学事課を文教課と改め宗教法人法取扱い。 中外 6・25</p> <p>6・一 ㊤竜谷大学留学生アイドマン、同大学図書館内にアイドマン文庫を設置。主要図書は1946年度版のエンサイクロペディアブリタニカ、その他民俗学・宗教学・文学等99部202冊。 中外 6・21</p> <p>6・一 ㊤梨木・建勲・護王・豊国・平野神社などの旧官国幣社が公共団体から援助を打ちきられ経営困難となる。無償払下げの土地の転売も考える。 京都 6・2</p> <p>8・14 ㊤文化財保護委員会が、醍醐三宝院庭園・平等院鳳凰堂・北野神社本殿などの文化財保存修理国庫補助を発表。 京都 8・15</p> <p>8・一 ㊤大塚節治、第13代同志社総長に就任(昭38・11、辞任)。 同志社教会90年小史、同志社90年小史</p> <p>9・21 ㊤古屋義之、カトリック京都司教区の初代司教に就任。 中外 9・20</p> <p>9・23 ㊤聖公会京都教区の佐々木二郎主教の就任10周年記念祝賀会が聖三一教会で行なわれる。米国聖公会のエメリック博士も出席。 中外 8・21</p>	

京	都	府	日	本
<p>10・15 ㊤西本願寺の白光荘開設。女子保釈者の母と子を同時に收容保護する母子寮。 中外 10・11、11・27</p> <p>10・19 ㊤高野山真言宗立の京都淑女学園創立50周年記念式典を開催。 中外 10・23</p> <p>10・27 ㊤京都宗教者平和運動協議会結成。 中外 10・25</p> <p>10・一 ㊤鞍馬寺本堂落成。 仏教大辞典</p> <p>10・一 ㊤専徳寺(猪熊錦角)のマヤ幼稚園を宇野秀方(故宇野円空の弟)が洛西の郊外小倉山山下柳裏町に設立、京都最初の郊外幼稚園。 中外 12・6</p> <p>11・3 ㊤安息日再臨教団京都教会(高辻烏丸西入ル)が毎週火・木・土・日に講演会を開催(～12・15、主催は予言の声)。 中外 11・1</p> <p>12・3 ㊤同志社教会創立75周年記念日、記念事業として同志社チャペルにジュニア=チャーチを開設。昭27・1・20には小崎弘道を招いて記念礼拝を執行。 同志社教会90年小史</p> <p>12・6 ㊤西本願寺、浄土真宗学校連合会を結成。 中外 12・13</p> <p>12・上 ㊤大谷大学の国史・国文・仏教史の研究室が親鸞聖人の消息の総合研究を開始。主な研究者は稲葉秀賢・日下無倫・藤島達郎・三品彰英・多屋頼俊。 中外 12・6</p> <p>12・18 ㊤講和条約締結記念宗教博覧会主催者会議を高台寺で開催。 中外 12・15</p> <p>12・18 ㊤出雲寺復興促進会を設立。 京都 12・19</p> <p>12・26 ㊤文化財保護委員会が苔寺西芳寺庭園・大徳寺方丈庭園・大仙院書院庭園(名勝の部)、銀閣寺慈照寺庭園・醍醐三宝院の庭園(史跡名勝の部)など、これまで文化財保護法によって史跡名勝天然記念物の指定をうけていた1,590件のうちから価値の高いものを特別史跡天然記念物に再指定、全国で62件を発表。 京都 12・27</p> <p>12・一 ㊤大谷大学生ら救ライ事業の推進を計るため大谷大学救ライ委員会が発足。 中外 12・11</p> <p>12・一 ㊤西本願寺の文化課、新作仏教讃歌17曲を完成。 同上</p> <p>12・一 ㊤紫野の淑女学園(高野山真言宗立)を経営難で京都市に1,500万円で売却、昭27・4市立紫野高校となる。 中外 12・13</p> <p>12・一 ㊤京都カトリック学生連盟が平和問題研究会・社会問題研究会を結成。研究成果をパンク=ロマーナの機関紙に「日本カトリック学生の声」として紹介。 中外 昭27・2・2</p>	<p>2・17 和歌山県の粉河寺、天台宗から離脱し粉河観音宗を設立(貫首は逸木盛照)。</p> <p>3・23 奈良県生駒郡の信貴山朝護孫子寺、高野山真言宗から離脱し、信貴山真言宗を設立。</p> <p>3・27 東京の浅草寺、天台宗から離脱し、聖観音宗を設立。</p> <p>3・29 社会福祉事業法公布。</p> <p>4・3 宗教法人法公布(宗教法人令廃止)。(宗教行政事務の所管を教育委員会から知事へ移す)。</p> <p>4・20 『聖教新聞』(創価学会機関紙)創刊。</p> <p>4・一 私立中・高校では宗教科が正科となる。</p> <p>4・一 全日本仏教青年会同盟、結成。</p> <p>5・3 創価学会会長に戸田城聖が就任、折伏大行進はじまる。</p> <p>5・23 日本基督教団を離脱した旧日本基督教教会系45教会、日本基督教会を設立。</p> <p>6・一 出雲大社教、神道教派連合を脱退。</p> <p>7・28 総評、宗教者平和運動協議会などと平和推進国民会議を結成。9・1 同会議主催、単独講和反対平和国民大会を靖国神社で開催。</p> <p>8・23 日本新宗教団体連合会結成。</p> <p>8・25 基督者平和の会、講和条約批准反対を声明、12・9 日本基督教団も声明。</p> <p>10・15 日本印度学仏教学会創立、昭27・7「印度学仏教学研究」創刊。</p> <p>10・17 全新興教団連盟結成、日本新宗教連合と日本新宗教連合会が合併。</p> <p>10・一 全日本仏教尼僧法団結成。</p> <p>11・3 日本仏教徒会議、中央学院で全国会議を開催。</p> <p>この年</p> <p>▷ 御獄教立教70周年大祭を執行。</p> <p>▷ 各地の護国神社境内地処分が認められ、護国神社・靖国神社の存続確定。</p>			

京 都 府	京 都 府
1・8 ㊤宗教博覧会京都協議会設立。 中外 1・19	行政協定が日米安保条約により戦争の危険がある旨、宗教的立場から強調し、英文の署名抗議文の公開状を米国務省極東部と吉田元首相あてに送付する。 中外 4・21
1・21 ㊤京都古文化保存協会が古文化財を保有する社寺に火災報知器を国庫補助で設置する運動を起す。 中外 1・24	4・7 ㊤浄土宗本派(本山知恩院)を、宗教法人法に基づき文部省が認証。 中外 4・17
1・21 ㊤日本基督教団京都地区伝道委員会が職域伝道委員会を創設(これまで都会インテリ層に偏在していた伝道を工場・会社鉦山など組織労働者の中に浸透させることをねらう)。京都教会の大山寛らが委員に選ばれ、石山近辺の諸工場から伝道を開始。 中外 1・26	4・11 ㊤西本願寺明如60回忌法要執行(～18日)。 中外 4・19
1・23 ㊤東本願寺放火(昭26・6・17)犯人に対して京都地方裁判所が懲役4年(求刑10年)の判決を下す。 中外 1・26	4・25 ㊤智積院本堂再建落慶式執行(～5・1)。 中外 2・14
1・下 ㊤下京区下寺町五条下ル本覚寺境内の元大照学園跡を買収し京都少年保護司連合会が少年の家を設立。 中外 1・15	4・27 ㊤日蓮宗開宗700年記念慶讃法要を同宗各本山で執行。 中外 4・22
2・12 ㊤労働基準監督局、西本願寺における労働法規の実態を調査。 中外 2・14	4・28 ㊤下京区醒ノ井通七条上ルの興正寺を総本山とする真宗興正派が、宗教法人の認証を受ける(明9に真宗本願寺派から分離)。 中外 5・8
2・20 ㊤京都の基督教各派が宗教教育研究会を組織し共同研究会をすすめる。この日サーバー宅で第1回集会を開催。 中外 2・12	4・一 ㊤聖公会のウィリアムス聖書学校をウィリアムス神学館と改称。共学制を採用。学生10数人となる。 日本聖公会100年史
3・2 ㊤臨済宗妙心寺派新宗制と宗教法人規則を決定。 中外 3・4	4・一 ㊤カトリックのドミニコ会が河原町今出川下ルの聖トマト学院内に神学校を開設。 中外 1・19
3・20 ㊤菅公没後1050年祭を北野天満宮で執行、大万灯祭祭典行事が行なわれる(15日伊勢神宮から聖火到着、京都ボーイスカウト300人・神職・氏子役員らに出迎えられ北野神社の灯籠に移される、20日から祭礼開始、～4・8)。 中外 3・13	5・5 ㊤臨済宗大徳寺派管長森山敬溪が、大徳寺に晋山。 中外 4・24
3・22 ㊤金閣寺再建に着工、この日斧入式。 中外 3・13	5・7 ㊤森川智徳、竜谷大学長に留任。 中外 5・10
3・23 ㊤上京区小松原南町にカトリックの洛星中学校(ピートル学園)校舎(600坪)竣工、落成式、4月開校。 中外 3・27	5・14 ㊤醍醐上の山町の同和園と嵯峨大覚寺内の寿楽園の2養老院を社会福祉法人として認可。 中外 5・31
3・31 ㊤出口すみ子(大本第2代教主)没。4・10綾部市梅松苑で葬儀。4・1、出口直日が3代目を継承。皇道大本の名を大本と改称。 中外 4・12、大本事件史	5・15 ㊤大本教規則を文部省が認証。 中外 5・20
3・下 ㊤洛北紫草苑(真宗大谷派の婦人更生施設)を府へ返還し、洛北寮として府が直接経営を行なう。 中外 3・20	5・17 ㊤知恩院の経営する平安養育院が社会福祉法人として認可される(昭28、児童福祉法による養護施設として児童の収容保護にあたる)。 仏教年鑑 昭44
3・一 ㊤京都を中心とする仏教各宗派の青年教化担当者が西本願寺で全仏教青年教化連盟を結成。 中外 2・14	5・17 ㊤府仏教会、四条繩手東の仲源寺に宗教法人相談所を開設(～7・26)。 中外 5・15
4・1 ㊤宗教法人法に基づき真宗大谷派規則を文部省が認証。 中外 4・1	7・28 ㊤下京区高倉通仏光寺下ルの仏光寺を総本山とする真宗仏光寺派が宗教法人の認証を受ける。明14同派名を公称。 中外 8・5
4・1 ㊤真言宗智山派、宗務所(東京)を本山の智積院に統合。 中外 3・7	7・30 ㊤関西仏教学生連盟(竜谷・大谷・仏教・花園の各大学)が世界仏教徒会議京都大会への基本方針を決定。 中外 10・2、4
4・2 ㊤京都宗教者平和運動協議会は、日米	8・1 ㊤虚無僧本山明暗寺末寺一朝軒復興。 中外 5・27
	8・5 ㊤真言宗御室派の宗教法人規則を文部省が認証。東寺・醍醐派・大覚寺派も認証。 中外 8・16

京 都 府	日 本
8・24 ㊤真宗大谷派京都教区寺族教官が、宗教教育研究会を結成。 中外 8・30	1・25 セブンスデー=アドベンチスト教団、東京中央教会に伝道センターを設立、献堂式を挙行。
9・3 ㊤第2回世界仏教徒会議の京都大会準備委員会を開催。 中外 9・4	1・28 宗教法人審議会委員15人任命(第1回)。 1・一 労働省、宗教奉仕者に対する取扱につき各労働基準局へ宗教奉仕を労務提供と見なさない方針を通牒。
9・11 ㊤鈴木大拙、再度の渡米にさきだち、大谷大学講堂で「東洋思想の真髓」について講演(14日渡米)。 中外 9・13	3・22 キリスト者平和運動協議会結成。
9・18 ㊤金閣寺復興事務局、法要を営み焼け残りの骨組みの解体に着工。 中外 9・16	3・27 日本基督教協議会第5回総会で「平和問題に関する日本基督者の見解」を発表。12・9日本基督教団「平和に関する声明」を発表。
9・一 ㊤宇治の黄檗山万福寺の直属として黄檗末生流を開く(末生流に黄檗宗祖隠元禪師の遺誠をとり入れてつくられたもの)。 中外 9・27	4・7 新日本宗教団体連合会(新興宗教の団体)、日本宗教連盟に加入、5・10第1回総会開催。
10・1 ㊤東福寺山内海蔵院(旧専門道場)に社会福祉法人洛東園(養老院)を開設(旧禅堂を除く既設建築物をすべて解放、本堂は講堂兼娯楽室にあてる)。 中外 10・25	4・28 対日講和条約発効。
10・2 ㊤上京区智恵光院通五辻上ルの本隆寺を総本山とする法門宗(真門流)が、宗教法人の認証を受ける。 仏教年鑑 昭44	4・29 国際基督教大学開校(東京都三鷹市)。
10・3 ㊤伏見稲荷神社境内の荷田東丸旧宅の復旧工事竣工、11・2 修復記念として同宅で稲荷文化展を開催(～11・4)。 稲荷年表	4・30 仏教社会科学研究会、政府の破壊活動防止法案に対して反対声明を発表。
10・5 ㊤第2回世界仏教徒会議京都大会、東本願寺で開催。 中外 9・20	5・一 政府、東京新宿御苑で全国戦没者追悼式。
10・10 ㊤全関西尼僧法団の結成式を知恩院で開催(団長に大宮智栄、副団長に日野西徳宝を推選、全国戦没者の追悼と世界平和祈願の法要を執行、遺族2,000余人が出席)。 中外 10・14	6・12 妙智会教団、法人の認証を受ける。
10・17 ㊤金光教の東山教会設立。金光教年表	6・14 立正佼正会、法人の認証を受ける。
10・中 ㊤メシヤ教が平安郷建設のため嵯峨に1万8千坪を購入。 中外 10・21	6・22 高野山真言宗管長庄野琳真晋山。
10・24 ㊤全国基督教音楽学会結成。同志社女子大学で第1回大会を開催(～25日)。 中外 10・21	7・31 天皇・皇后、戦後明治神宮に初参拝、10・16 靖国神社にも初参拝。
11・8 ㊤第2回日本仏教保育大会を東本願寺議事堂で開催(第1回は明25に身延山で開催)、主催者は関西仏教保育団体。10・17 高橋浩州(東福寺内恵日幼稚園長)を委員長にした準備委員会が大会の内容を発表。 中外 8・28、9・18、10・21	7・一 在家仏教会結成、昭29・7 社団法人在家仏教協会に改組(本部東京都千代田区大手町)。
11・14 ㊤御室仁和寺の国宝茶室を修理完成した記念に大茶会を催す。 中外 10・31	8・1 文部大臣官房宗務課を廃し、調査局に宗務課を置く。
11・一 ㊤清水寺本堂が国宝に指定される。 官報	8・1 宗教法人の日本聖公会を設立。
この年	9・3 大阪の念法真教、文部省から宗教法人の認証をうける。
▷ ㊤社寺国有境内地私下処分完了(昭28の表参考)。	9・8 創価学会、法人設立登記。
▷ ㊤府、この年以降府下5万世帯の遺族の中から毎年500人を靖国神社参拝に招待。 京グラフ 2	9・25 第2回世界仏教徒会議、東京築地本願寺で開催、18カ国代表者が出席。10・30 平和宣言を決議。
	10・2 宗教法人法による旧宗教法人の新宗教法人としての規則認証申請期限満了(文部大臣に申請544、解散198。外に新設包括宗教法人、昭28・7・1までに認証されたもの15)。
	10・12 奈良東大寺で大仏開眼1200年法要執行。
	10・16 大阪四天王寺を中心とする和宗、別派法人として認証を受ける。
	10・24 日本基督教会学会発会式(理事長石原謙)。
	11・15 霊友会教団、法人の認証を受ける。
	12・1 『新約聖書』(口語訳、キリスト新聞社版)刊。
	12・6 世界仏教徒日本連盟、発足。
	この年
	▷ 仏教渡来1500年記念実施。
	▷ 日本天主教教団、カトリック中央協議会と改称。

京	都	府
<p>1・下 ㊤室町出水の女子基督教青年会館に礼拝堂竣工（YMCAで礼拝堂を持つのは東京・大阪について3番目）。 中外 1・25</p> <p>1・30 ㊤大谷光瑞らの大谷探検隊が収集した資料を保存・整理・研究するため竜谷大学に西域文化研究所を設置（5・30 同史料を中心に研究会を開催。8月、文部省科学研究補助費（約30万円）の交付を決定）。 中外 1・24、6・2、8・12</p> <p>2・9 ㊤日本基督教団京都教区が協力伝道委員会を開催、4月から洛南地方（これまで教会なし）への伝道に着手することを決定。 中外 2・12</p> <p>2・16 ㊤洛東の大谷別院を大谷本廟と改称し同境内を東本願寺の飛地境内とする。 中外 3・7</p> <p>2・23 ㊤仏教同朋会本部（烏丸松原）、同会館を開設。 中外 2・17</p> <p>2・一 ㊤日本バプテスト連盟が京都基督教病院建設を決定、左京区北白川上池田町の島津別邸を購入、3月から改修工事を行ない昭29・1・16開院。 中外 2・12、昭 29・1・26</p> <p>3・24 ㊤中共引揚者2,000人が舞鶴に入港、京都仏教会と同会舞鶴支部が舞鶴市内7カ寺に150人を収容。 中外 3・19、26</p> <p>3・27 ㊤真言宗智山派管長に御獄現管長を再選。 中外 3・25</p> <p>3・24 ㊤太田深澄（青蓮院門跡）没（82歳）。 中外 3・25</p> <p>4・1 ㊤浄土宗大雲院境内地（寺町四条下ル）にアイススケート場と仏教会館の建設に着手。 中外 3・11</p> <p>4・11 ㊤上京区仁和寺街道千本西入ルの浄土宗国生寺（住職法山竜臥）にルンビニー幼稚園が落成。 中外 12・11</p> <p>4・18 ㊤中共第2次引揚者、京都駅に到着。同引揚者から中共の宗教事情と宗教観などを尋問。 中外 4・22</p> <p>4・20 ㊤深谷善和が天理教河原町大教会の第7代会長に就任。 天理教要覧</p> <p>4・27 ㊤園城寺善法院住職松田俊雄が天台宗寺門派管長に当選。 中外 4・29</p> <p>5・23 ㊤東本願寺高倉会館創立30周年記念事業を執行。 中外 5・3</p> <p>5・一 ㊤宗教文化研究所(財)（下京区油小路六条上ル井筒KK内）、宗教文化賞を設定。 中外 6・7</p> <p>5・一 ㊤建仁寺山内の真神俊厳、光保育園を開設。 中外 2・14</p> <p>6・6 ㊤日本宗教事業協会（京都市中京区間</p>	<p>ノ町丸太町下ル）、万国史蹟宗教公園築造事業促進のため五色園護持会および護持講を結成、発起人五色園副管主森修尔。 中外 5・31</p> <p>6・7 ㊤北野天満宮で天満講社結成、第1回講社大祭を執行。 中外 6・6</p> <p>6・14 ㊤世界宗教総合祭典（世界恒久平和国民大祭）、円山音楽堂で開催（～15日）。 中外 6・11</p> <p>6・15 ㊤青蓮院門跡に善光寺大勸進住職東伏見慈治を任命。 中外 6・17</p> <p>6・17 ㊤高台寺の平和観音像（地上88尺）建設委員会（会長大西良慶）第1回協議会開催。 中外 6・20</p> <p>7・1 ㊤上京区堀川寺ノ内上ル2丁目天神町の興聖寺を総本山とする臨濟宗興聖寺派を設立して宗教法人の認証を受け、臨濟宗相国寺派から分離。 仏教年鑑 昭44、中外 10・24</p> <p>7・7 ㊤府宗教婦人連盟委員会が東本願寺宮御殿で京都出身の戦犯抑留者釈放帰郷歓迎会を開催。 中外 7・10</p> <p>8・3 ㊤京都女子大学、夜間幼稚園教員養成所を開設（～12・23）。昭29春から大学付設。 中外 7・14</p> <p>8・8 ㊤高台寺の所有地約70坪を買収し平和像の建立を起工、ここに全国戦没者英霊を収納する方針。 中外 6・7</p> <p>8・12 ㊤日本国際連合協会京都本部、国連協会世界連盟を通じて国連に宗教を討議する機関を設けるよう提案。 中外 8・14</p> <p>8・15 ㊤大正池決潰による洛南井手町が大被害を蒙り、石川玉川寺流失。 中外 8・18</p> <p>8・18 ㊤日本バプテスト連盟第7回年次総会を左京区岡崎公園内の旧連合軍ポストチャペルで開催（～21日）。全国から代議員・準備員約200人出席。 中外 8・20</p> <p>8・20 ㊤府宗教連盟、南山城地方の水害地復興を促進するため南山城の8カ所に託児所開設を決議。9・5 知恩院・綴喜郡田原村、9・10 西本願寺・相楽郡中和東村実拍寺に開設。 中外 8・22、29</p> <p>8・26 ㊤光慈賢没、85歳（西山浄土宗管長・同宗大本山光明寺第73世法主・西山短期大学長）。 中外 8・29</p> <p>9・1 ㊤村雲門跡、瑞竜寺（上京区元誓願寺上ル）の保育園を開設。園長九条日淨尼・保母長平瀬志づ子。 中外 6・20</p> <p>9・1 ㊤大谷大学史学科藤島達朗教授ら、東本願寺枳殻邸所蔵の幕末から明治初年の史料文献の整理と目録作製を実施。 中外 9・4</p>	

参	考	日	本			
○ 社寺国有境内地処分状況 昭 28.12. 1 現在		1・31	南方八島に向け遺骨（11万体系）引取団が出発。			
区分	神社 寺院	合帳上の境内地		譲与 売払 別	譲渡した土地	
		個数	坪数		件数	坪数
京都	神社	1,276	1,539	譲 売	1,166 8	1,941 9
	寺院	722	2,187	譲 売	635 2	2,321
全国	神社	75,669	94,119	譲 売	61,744 374	93,987 2,042
	寺院	30,529 (13)	24,633 (8)	譲 売	21,223 209 (9) (4)	24,359 50 (6) (2)
注1 譲与は「譲」、時価の半額売払は「売」で表示。 2 教会の分は寺院欄数量のうち（ ）で表示。 3 坪数は千坪以下切捨て。 4 台帳坪数に比し譲渡坪数が大きいのは実測の結果である。 5 上記の社寺国有境内地処分のほか社寺保管林の処分（譲与、部分林の設定、有益費の補償）もあるが府の集計がないので略す。社寺保管林譲与の例としては府下醍醐寺が163町歩譲与された。		4・14	日本聖公会第24総会東京で開催、改正祈禱書試用承認・聖歌集改訂の件など決議。			
資料 社寺境内地処分誌		5・8	宗教法人白蓮社、解散を決議（戦犯者保護・同遺家族保護・来日留学生援助・仏教学徒の学資援助・日比両国親善運動など実施）。			
		5・21	奈良の正倉院新宝庫、6,000万円 で完成。			
		5・23	大阪市立博物館で、わが国初の石仏展覧会を開催。			
		5・28	聖公会神学院礼拝堂献堂式執行。			
		5・一	伊藤真乘、真如苑（旧まこと教団）を開設。			
		5・一	沖縄の吉那那覇市長と田原沖繩仏教会長が、仏教会館と納骨堂の建立を民政府に陳情。			
		8・7	教育学院礼拝堂で、聖公会全国信徒大会を開催。			
		8・10	日本仏教連合会加盟責任者、郵政省へ宗教放送機関の設立を陳情。			
		8・一	高野山で第1回日本仏教徒会議、開催。			
		10・1	『金光大神』（教祖伝）刊。			
		10・2	伊勢神宮内宮（10・5 外宮）、第59回式年遷宮を挙行。			
		10・30	霊友会会長小谷喜美、信者が集めた赤い羽根募金100万円横領容疑で逮捕される。			
		11・15	堀一郎、『我が国民間信仰史の研究』刊行。			
		11・一	宇井伯寿、文化勲章を受ける。			
		12・20	第23回世界宗教会議、パリで開催。			
		この年	▷ 仏教保全経済会事件。			

京 都 府
<p>9・19 ㊤臨済宗妙心寺派の第17教区花園会が妙心寺花園会館を建設することを決議。 中外 9・27</p> <p>9・25 ㊤浄土宗大雲院本堂跡に建設したキョートアイスパレスが完成し、リング開きを行なう。 中外 9・26</p> <p>9・26 ㊤天竜寺開山夢窓国師の祖廟である嵯峨臨川寺で同国師の造天竜寺船の歴史に因み日本貿易変遷史展を開催。 中外 9・25</p> <p>9・一 ㊤大谷大学に矯正保護教育講座を開設。 中外 8・23</p> <p>9・一 ㊤百万遍知恩院山内善導院の善導保育園開設。 中外 7・15</p> <p>10・18 ㊤同志社教会、京都市内に散在する教会員を居住地単位に分類し17の「組会」を組織、組会長宅で家庭集会・伝道集会を持つ。 同志社教会90年小史</p> <p>10・23 ㊤田村歆陽、西山浄土宗管長に就任。 中外 11・3、25</p> <p>11・22 光明寺本山に晋山。 中外 11・3、25</p> <p>11・9 ㊤金光教京都平安教会（松原通油小路下ル）布教70周年記念祭（同教会は明16金光教としてはじめて京都に布教を行なった）。 中外 11・3</p> <p>11・28 ㊤南山城の水害にあたり8カ所の臨時保育所を設置して災害地の復旧に協力した宗教団体に対し知事が感謝状を贈る。 中外 12・1</p> <p>12・1 ㊤嵯峨水尾町の円覚寺（浄土宗）が老人ホームの寿楽園水尾分園を開設。昭34・3・5寿楽園から分離し下鳥羽に清和園（社）を設ける、また4・1に水尾分園を改め水尾寮を開設。 仏教年鑑 昭44</p> <p>12・5 ㊤神学者ブルンナー博士が同志社教会で「われは神秘なり」と題して講演。阪神方面からも聴衆が集まり1,000人を越す。 同志社教会90年小史</p> <p>12・16 ㊤京都古文化財保護協会、映画撮影に古文化財および重要社寺を利用する場合の注意を映画会社に要請。 中外 12・18</p> <p>12・28 ㊤樋口二郎、天理教宮津支教会の第4代会長に就任。 天理教要覧</p> <p>この年</p> <p>▷ ㊤京都仏教保育協会創立25周年記念式典を東福寺開山堂で挙行。 中外 11・5</p> <p>▷ ㊤園部にカトリック教会堂竣工。昭29・2までに約400人の信者を獲得。カトリック経営の聖家族女子高校を開設。 中外 2・6</p> <p>▷ ㊤府風致審議会、高台寺境内に建立するセメントの大観音像に反対。 中外 8・15</p> <p>▷ ㊤竜谷大学提案の全京都仏教大学懇談会結成を決定。これまでの関西仏教学生連盟は解消。 中外 7・12</p>

参 考 日 本

京 都 府	
1・16 ㊤京都バプテスト病院（左京区北白川上池田町）、設立途中に京都府医師会の猛反対に会いとらず診療所として開業、8月正式に開院（院長サック=ホワイト博士）。 中外 1・26	6・9 ㊤大谷大学学生会、真宗大谷派第50回宗議会へ大谷大学の白書を提出し荒廃する大谷大学の充実発展に積極的な努力を払うよう訴える。 中外 6・13
2・上 ㊤カトリックが亀岡町に教会堂の建設を計画、約600坪を購入。 中外 2・6	6・30 ㊤西岡時雄ら（大阪大学医学部原爆症研究会）、竜谷大学で宗教家に水爆の脅威を説明する講演会を開催。 中外 7・3
2・14 ㊤京都無形文化財協会結成。 中外 2・14、21	6・一 ㊤御室仁和寺の国宝宸殿を国庫補助により修理完了。 中外 6・22
2・15 ㊤真宗大谷派の真身会を解散し、同和問題協議会（教学局の諮問機関）を設立。 中外 2・16、20	7・9 ㊤東本願寺が、国宝『教行信証』の刊行に着手。 中外 7・11
3・6 ㊤東本願寺所蔵の阪東本『教行信証』（昭27・3 国宝指定）修理に着手。 中外 5・12、13、15	7・20 ㊤関西仏教音楽協会、大雲院ホールで結成（仏教各派学校の仏教音楽団体連絡協議機関。7・28 華頂短期大学長水野隆樹、初代理事長に決定）。 中外 7・6、22
3・7 ㊤九条末生流花道、東福寺開基藤原道長700年忌にちなんで復興。 中外 3・9	7・27 ㊤世界仏教徒京都連盟を解散し、京都仏教同志会を結成。 中外 7・29
3・26 ㊤石井漢主演のグランドバレエ「人間釈迦」（文部大臣賞授与作品）、南座で公演。 中外 3・13	7・29 ㊤印度大菩提会理事長ヴァリシンハ、来京、印度での仏教復興運動を伝える。 中外 7・1、13、18
3・一 ㊤醍醐寺金堂を国宝に、南禅寺『一切経』を重要文化財に、竜安寺方丈庭園を名勝にそれぞれ指定。 官報	8・17 ㊤宇治の平等院鳳凰堂中堂の壁画来迎図と中品中生観の壁画模写に着手。 中外 8・19
4・4 ㊤解脱報恩謝会（宗）、泉涌寺山に解脱金剛会の象徴として金剛宝塔を竣工。 中外 4・2	8・22 ㊤東本願寺新門主大谷光紹がアメリカコロンビア大学留学から帰国。 中外 8・20
4・8 ㊤大雲院本堂落成。 同上	8・一 ㊤東本願寺、市警発表の「青少年ヒロポン白書」を各教区へ送付し、「覚醒剤から青少年を守る運動」の徹底を期す。 中外 8・17
4・10 ㊤京都YMC A 英語学校が創立50周年記念会を開催。 中外 4・10	8・一 ㊤京都市地藏盆連盟を結成（会長坂部三次）。 中外 8・8
4・16 ㊤京都国学院の新入生12人、石清水八幡宮で合宿、宗教一般・神道行事などの指導をうける（～23日、この年が最初）。 中外 4・24	9・15 ㊤妙法院の名園積翠園の売却問題からむ専売公社の病院建設に反対する地元東山区修道学区民が、学区民大会の決議にもとづく声明書を高山京都市長らに提出。 中外 9・17
4・16 ㊤東伏見慈治、青蓮院に晋山。 中外 4・16	9・18 ㊤金閣寺上棟式（昭29春起工）。 中外 9・15
4・一 ㊤竹田益州、臨濟宗建仁寺派管長に就任、5・23 建仁寺に晋山。 官報、中外 5・5	9・一 ㊤友禅染の創始者友禅 300年忌記念事業として、友禅会が知恩院山門南側に工費500万円で小公園を設けることになる。 中外 9・22
4・一 ㊤東寺講堂（重文）解体修理完成。 中外 4・2	10・1 ㊤西本願寺仏教青年会、原水爆禁止100万人署名運動を開始（10・3～4）。西本願寺で同禁止写真展を開催。 中外 9・21
4・一 ㊤京都宗教人懇談会、原水爆使用反対運動の展開を決議。 中外 4・14	10・14 ㊤昭26・2 着工の千本釈迦堂報恩寺本堂（鎌倉初期の建築様式）竣工、11・8 落慶式。 中外 10・16
4・一 ㊤吉水学園（東山仁王門西入ル）、文化学園を開設。 中外 4・14	10・一 ㊤京都市、民間保育所勤奨交付金530万円を17保育所に交付（新設10、増築5、改築2）。 中外 10・26
5・21 ㊤全京都の仏教大学生自治会委員が平和問題につき懇談会を開催。 中外 5・23	
5・22 ㊤京都仏教徒会議、大雲院で開催。原・水爆反対を決議。 中外 5・22、25	
5・一 ㊤嵯峨の清涼寺本尊釈迦如来像の胎内から内蔵の模型（約1,000年前のもの）を発見。 中外 5・28	
6・8 ㊤府文化財保護課、東寺大師堂（重文）から鎌倉時代の五重小塔を発見。 中外 6・16、8・13	

京 都 府	日 本
11・3 ㊤古文化保存協会、文化の日になんで同会加盟の古社寺を無料で公開（～10日）。 中外 12・1	2・11 神社本庁の通達で、樫原・伊勢・鎌倉八幡など紀元節祭を実施。
11・6 ㊤中国紅十字社代表李徳全女史一行、入京。東西両本願寺を訪れ日中仏教徒の提携について懇談。 中外 11・9	3・18 佐久間俊一（日之教開祖）没（71歳）。
11・8 ㊤千本釈迦堂（真言宗智山派大報恩寺）、修理完成報告釈迦如来遷座大法要を平和祈願柴灯大護摩供養とともに行なう（屋上に最新設備ドレンジャーを装置）。 中外 11・10	6・4 日本宗教放送協会（社）設立。
11・11 ㊤アメリカ人アイリッシュ（航空大尉）、知恩院の平安養育院復興資金として633万円を寄付、年末から「アイリッシュ記念館」建設に着手。 中外 1・5	6・25 日本仏教連合会・世界仏教徒日本連盟を解散し、全日本仏教会結成。
11・16 ㊤鈴木大拙、大谷大学講堂で講演。17日京都大学で西田幾多郎10周年記念講演会にのぞみ「東洋の考え方について」と題し講演。	6・下 宗教音楽教会の名称を仏教音楽協会に改称。仏教音楽作曲演奏者の団体となり、仏教音楽の創作活動に専念。
11・28 ㊤日本基督教団京都教区で教区内教会が一せいに教職を交換し「我らの福音を恥とせず」の主題のもとに講演を行なう。 中外 10・15	7・1 宗教団体が経営に参画の日本短波放送（株）、創立。8・27 開局。
11・一 ㊤知恩院蔵の上宮聖徳法王帝説を国宝に指定。 官報	7・一 文化財保護委員会、国宝・重要文化財の公開に当たり、事故防止のため、移動制限や取扱注意を要する品目256件を決定。
12・19 ㊤田辺カトリック教会会堂が綴喜郡新田辺町に竣工、献堂式。 中外 12・21	8・5 四天王寺の和宗と東京浅草寺の聖観音宗が、大乘連盟を結成。
12・23 ㊤日蓮宗大本山本因寺寺室「まんだら」売却容疑事件で同宗第二審査会、本因寺貫主加藤日進に僧階二級降退の審決（4・27 の第一審は貫主罷免の審決）。 日出 昭30・1・5	8・8 創価学会、全国地方折伏を開始。
この年	8・27 梟鳥敏没。
▷ ㊤春、日本バプテスト京都教会会堂が左京区荒神橋畔に竣工。 中外 1・26	8・一 法隆寺金堂本尊釈迦三尊（国宝）の天蓋から飛鳥時代の落書（わが国最古のもの）を発見。この天蓋調査は明39の岡倉天心の調査に続く2回目。
▷ ㊤秋、カトリック京都教区が教区内各地に教会建設用地を購入（下京区西大路九条に400坪・宇治市宇治橋北畔に500坪・右京区桂新 京阪桂駅西側に500坪など）。 中外 10・1	9・6 日蓮宗最上教に対する文部省の認証をめぐる紛糾。
	10・5 白鳥庫吉『神代史の新研究』刊行。
	10・6 全日本仏教婦人連盟結成（本部は東京都世田谷区桜上水）。
	10・一 永平寺で第2回全日本仏教徒会議開催。
	11・4 第3回日本仏教徒大会を身延山久遠寺で開催（～6日）。
	11・5 真言宗豊山派総本山大和長谷寺、五重塔落慶法要（～18日）。
	11・6 第4回自由宗教人全国会議を開催。
	11・14 真宗十派の学徒、津市一身田の専修寺で真宗連合学会を結成。
	11・17 浄土宗本派（本山知恩院）と浄土宗（本山増上寺）の一体化を決定。
	11・23 友松円諦主宰の真理運動、20年記念祝賀会を開催、『真理運動20周年史』刊行。
	12・3 世界仏教徒会議第3回、ビルマのラングーン郊外で開催。～17日。
	12・一 東大寺教学部の主催により南都仏教研研究会を結成し、『南都仏教』を創刊（明年5・2 聖武天皇1200年遠忌の記念事業として発足）。

京	都	府
1・9 ㊤日本基督教団、府下各教会の宣教100年記念伝道協議会を綾部市の丹陽教会で開催。23日には京都教会でも開催、具体的な伝道方法を協議する。 中外 1・7、25		4・26 ㊤宇治の平等院鳳凰堂本尊阿弥陀仏体内納入の体内仏「甘露呪」が50年ぶりに公開、高さ約6寸・直径1尺2寸。 中外 4・28
1・18 ㊤全日本仏教会関西事務局、花まつり関西委員会を結成、全日本仏教会が花まつりを仏教音楽・演劇を通じ文化性をもった行事に育てる方針。 中外 1・20		4・27 ㊤東山の真如堂(天台宗)、秘蔵の刺繍の浄土曼荼羅(畳18枚大)を公開。 中外 4・27
1・19 ㊤国際宗教研究所理事長ウィリアム＝ピー＝ウッダード、竜谷大学において同所主催関西講演会を開催。 中外 1・20		4・一 ㊤大徳寺塔頭玉林院の大徳寺保育園を開設。 中外 2・15
1・27 ㊤西本願寺同朋会、部落問題研究懇談会を開催、仏教学との関係を明らかにする方針。 中外 1・26		4・一 ㊤京都大学、印度北方カシミールのカラコルム山系一帯を学術的に調査するため、総合調査隊を派遣。 中外 昭29.7.24
1・一 ㊤大谷大学教授舟橋一哉の著書『冠導本舎論索引』が、フランスの経典学者デュメビルの要請で日仏学館を通じフランスへ渡る。 中外 1・23		4・一 ㊤昭24・4 嵯峨大覚寺門前に設立した養護老人ホーム寿楽園南寮を天竜寺北造路町に移し嵐山寮を設立、昭37・4 社会福祉法人となる。 仏教年鑑 昭44
2・6 ㊤カトリックのメリノール会総長レインコ教来京、河原町三条のカトリック教会で荘厳司教ミサを執行。 中外 2・6		5・1 ㊤花園大学禅文化研究所が季刊『禅文化』を創刊。 中外 4・13
2・10 ㊤府宗教連盟内に設置した宗教教誨委員会を京都府教誨師会に改組。会長に前委員長藤井晋(東本願寺社会部長)、副会長に浜口大声(西本願寺社会部長)と大岡義政(京都聖公会牧師)を選ぶ。 中外 1・26、2・12		5・1 ㊤西山禅林寺派管長伊藤隆範が禅林寺に晋山。 中外 4・21
2・22 ㊤スタンレー＝ジョーンズ博士、日本プロテスタント宣教100年記念伝道応援のため来日、平安女学院講堂で伝道集会を開催。2・24には舞鶴で府下伝道集会を開催。 中外 2・8		5・15 ㊤知恩院の平安養育院に、アイリッシュの寄贈によるアイリッシュ記念館と児童寮が竣工し、平安養育院を復興。 中外 5・13、17
3・一 ㊤中国仏教協会から竜谷大学へ貴重仏書118冊が贈られる。 中外 3・3		5・21 ㊤西本願寺と真宗連合学会が共催で西本願寺所蔵の親鸞聖人真蹟を竜谷大学図書館で公開(～22日)。 中外 5・19
4・11 ㊤東本願寺大谷光暢法主の主宰する大谷学苑合唱団が、初の東京公演を行なう。 中外 4・12		5・22 ㊤真宗連合学会第2回大会を竜谷大学で開催。 中外 5・24
4・4 ㊤黄檗宗立宗300年にあたり外郭団体として黄檗観光局を設立。全国の学生・各種団体に精神修養道場として開放し、観光と修養を兼ねて宿泊させることになる。 中外 5・1、7		5・一 ㊤同志社高校のチャペル竣工献堂。 同志社90年小史
4・12 ㊤上京区白梅町の洛星高校校舎竣工、落成式。教皇使節フェルステンベルグ大司教が臨席。 中外 3・23		6・8 ㊤石川博資(帝産社長)が発願する東山高台寺境内の霊山観音像開眼式を行なう。 中外 5・19、6・10
4・17 ㊤ノートルダム小学校(カトリック系)、下鴨南野々神町に新築竣工、落成式(京都市で初の宗教財団による私立小学校)。 中外 4・18		6・19 ㊤第1回同志社創立80周年記念伝道礼拝実施(第2回は10・2、第3回は10・16)。 同志社教会90年小史
4・22 ㊤タイ国の仏教留学生3人(国立仏教大学生)が22日八幡町忍微寺に入山。 中外 4・22、23		7・24 ㊤鈴木松太郎(伏見稲荷神社宮司)没(84歳)。 稲荷年表
		8・16 ㊤全国八幡宮連合(4万5千余社加盟)が石清水八幡宮会館で神職研修講習会を開催(～17日)。 中外 8・13
		9・8 ㊤倉持秀峰、智積院化主として入山、11・21 晋山式を挙行。 中外 9・10、11・22
		9・14 ㊤西本願宗会で親鸞700回遠忌予算を決議、国内募財は15億円、記念事業費は9億7千万円。 中外 9・15
		9・14 ㊤西山禅林寺本山経営の永観堂幼稚園を学校法人として認可。 中外 9・22
		9・25 ㊤第1回神道史学大会、京都大楽友会館で開催。 中外 8・25

京	都	府	日	本
10・10 ㊤金閣寺再建落慶法要執行。 京都 10・10			1・5	日本基督教協議会、アメリカ農村伝道の権威J.H.ライズナーを迎え、全国農村伝道協議会を開催。
10・20 ㊤小田雪窓、臨済宗大徳寺派管長に就任。 中外 10・21			1・24	日蓮宗最上教を文部省が認証。
10・22 ㊤嵯峨の大覚寺で華道芸術学院落成を記念して全学院生の作品花展を開催。 同上			2・10	メシヤ教主岡田茂吉没、夫人が2代教主となる。
10・24 ㊤京都仏教各宗学校連合会の第11回大蔵会を東寺で開催、このとき日本最古の胎蔵界曼荼羅を公開。 中外 10・19			2・11	安藤文部大臣、「文相談話」で、小学校社会科内容改訂により宗教・天皇を盛り込むことを発表。
11・5 ㊤御室仁和寺門跡に花樹智勝が晋山。 中外 11・8			4・9	神宮皇学館、復活し開館式(昭37・2・17皇学館大学に昇格)。
11・9 ㊤大塚節治、同志社大学総長に選出。 中外 11・11			4・12	全日本仏教婦人連盟結成式(日比谷公会堂で開催、会長に大谷智子就任)。
11・29 ㊤日中仏教研究会を結成(理事長塚本善隆・常任理事に大西良慶・小笠原宣秀ら)。 中外 12・1			4・20	比叡山延暦寺で天台大師1350年法要(～25日)。
12・3 ㊤大谷大学で仏教史学会公開講演を催す。 中外 11・27			4・22	セイロンのマララセーケラ博士来日(英文世界仏教百科辞典の刊行協議のため)。
12・11 ㊤同志社教会が吉田母子寮の人びとをクリスマス祝会に招待、教会員とともに過ごす。以後恒例の行事となる。 同志社教会90年小史			4・一	日本宗教学会会誌『英文東西哲学』創刊、世界宗教学史大会出席の宮本正尊・菅田吉がローマへ持参。
12・24 ㊤日本基督教団京都教区讃美歌委員会が市街でキャロリングを行なう。 中外 12・22			5・3	東京浅草寺の本堂落成。
			5・8	全日本仏教会長に大谷光照就任。
			6・一	宮本正尊、文部省の委嘱により欧米の宗教事情を調査。
			7・6	『英文仏教百科大辞典』日本編纂所、発足。
			8・1	東京で世界宗教学会議開催。
			9・1	イギリスで開催の第17回世界YMCA総会に植村環ら出席、原水爆禁止を提案。
			9・一	大本教、教派神道に加盟。
			11・4	第3回全日本仏教徒会議、身延山で開催。
			11・10	全日本仏教会、玄奘三蔵の遺骨の分骨を方針どおり台湾に送ることに決定(この遺骨は日華事変当時南京から持ち帰ったもので、返還について中国仏教協会(中共)と中国仏教総会(台湾)との板ばさみとなり成り行きが注目される。11・26 台北善導寺で引渡式挙行)。
			11・10	仏教徒文化交流協会設立、仏教系13大学が加盟。
			12・5	天理教で1万人収容可能な「おやさとやかた」完成。
			12・27	西藏大蔵経研究会(代表山口益)『西藏大蔵経』(～昭41・1・30、168巻)刊行。
			この年	▷ 創価学会、地方議会に進出。

京	都	府
1・1 ㊤伏見稲荷神社の初詣で35万人、戦後最高のにぎわい。 稲荷年表	5・9 ㊤森川智徳、竜谷大学学長に就任。 中外 5・11	
1・12 ㊤大谷大学長山口益・同教授正親合英・名畑応順らが真宗大谷派学階最高位である講師を授与され東本寺黒書院で親授式。 中外 1・13	5・12 ㊤本門仏立宗開講100年記念法要を大本山宥清寺(上京区下ノ森)で執行(～16日)。 中外 5・12	
1・16 ㊤壬生寺会館が竣工し、入仏式を行なう。 中外 1・17	5・13 ㊤京都市、社寺拝観料からの観光税新設を計画し京都古文化保存協会に協力を求める。これより社寺側同税の反対運動をおこす。 中外 5・23	
1・18 ㊤下京区七条通千本西入ルの東本願寺朱雀御坊本堂が竣工し、落慶法要を営む。 中外 1・19	5・18 ㊤西本願寺大谷光照門主夫妻、セイロンの仏紀2500年記念式典に国賓として出席するため、日本を出發(～6・4)。 中外 5・19	
1・19 ㊤千本釈迦堂大報恩寺が所蔵する木彫十大弟子立像(重文)の胎内納入文書を、文部省保護委員が調査。 中外 1・22	5・18 ㊤知恩院の岸門主、ビルマにおける第6回の仏典結集開会式典に参列するため京都を出る。 中外 5・20	
1・22 ㊤溪道元、黄檗宗管長として宇治の万福寺に晋山。 中外 3・1	5・27 ㊤同志社教会創立80周年記念特別伝道実施(6・3、10・14、10・21、11・4にも実施)。 同志社教会90年小史	
2・8 ㊤嵯峨の天竜寺前庭に観光バス道路と観光バス駐車場の設置工事を始める。 中外 2・10	6・2 ㊤第3回真宗連合学会を大谷大学で開催。 中外 6・2	
2・15 ㊤京都市交通局、七福神巡回バスの運行を開始。 中外 2・3	6・2 ㊤関西仏青懇話会を中外日報社ホールで結成。 中外 6・5	
2・19 ㊤京都史蹟保存協会(東山区高台寺一休庵内)を結成(会長は西田直二郎)。 中外 2・23	6・28 ㊤中国仏教美術展を京都勸業館で開催、～30日。 中外 7・1	
3・1 ㊤生長の家京都教化部開設25周年祝賀会を成安会館で開催、湯川弘子ら講演。 中外 1・31	7・13 ㊤日本福音ルーテル会が山科の一灯園で修養会を開催(～15日)。 中外 7・6	
3・9 ㊤関魏宗を臨濟宗天竜寺派管長に再任。 中外 3・11	7・16 ㊤洛西の苔寺西芳寺、京都市の観光税に反対し、一般の拝観を拒絶。京都の各社寺も7・25から一せいに拝観を中止。 中外 7・17	
3・26 ㊤金閣寺(鹿苑寺)庭園を文化財保護委員会が特別史蹟および名勝に指定。 中外 3・29	7・22 ㊤京都市が、観光税の対象に指定した20社寺が観光税に反対し、全国会議員へ陳情。 中外 7・22	
4・1 ㊤稲垣真我、仏教大学長に就任。 中外 3・15	7・26 ㊤ラクア伝道団が宣教100年記念伝道応援のために来日。同団員の1人ワルト=エイマンが単独で来京、YMCAで集会を持つ。 中外 7・21	
4・8 ㊤大谷楽苑が、NHKで長田恒雄作詩・清瀬保二作曲の「板敷山の夜」を初めて公演、5・21 弥栄会館で公演。 中外 4・7、5・20	7・下 ㊤乙訓郡の向日町教会では立体農業研究所と連携し京都府農村センターを建設、農民福音学校などを開校。 中外 7・10	
4・8 ㊤洛東の高台寺霊山観音の廻廊・仏足石・霊屋の解体修理が完成。 中外 4・10	9・8 ㊤藤巻正之、伏見稲荷神社の宮司に就任。 稲荷年表	
4・14 ㊤真溪涙骨(中外日報社長)没。 中外 4・14、29	10・22 ㊤救世軍関西連隊、四条富小路の京都小隊会館で秋季特別伝道集会を開催。 中外 10・21	
4・15 ㊤天理教河原町大教会、教祖70年祭。 中外 4・17	11・30 ㊤同志社チャペルで同志社教会創立80年記念聖餐式・祈禱会を開催。12・2 に記念礼拝式、『同志社教会八十年史』刊。 同志社教会90年小史	
4・29 ㊤同志社教会の定期総会、同教会創立80周年記念事業の計画を決定(200万円の予算による「教会の家」の建設、「同志社教会八十年史」の発行、記念特別伝道の実施)。 同志社教会90年小史		
5・1 ㊤慈照寺銀閣の拝観料不正流用容疑をめぐり、菅月泉が同寺住職を辞任したため、相国僧堂師家大津樞堂を同寺住職に任命。 中外 5・10		

京	都	府	日	本
10・1 ㊤京都市、文化観光施設税施行、10・13、20社寺に対して文化観光施設税の実施を告示(10・9 醍醐三寶院・天竜寺・広隆寺・平安神宮・仁和寺・二条城が、徴税を届け出る。また同税に反対する社寺に対して自動的に徴税義務者に指定)。 中外 10・10			1・1 新潟県弥彦神社の初詣で、餅まきに群衆殺到し大混乱、圧死者124人。	
10・19 ㊤霊山観音会(財)が、文化観光施設税に反対し知事に訴願。さらに京都地裁へ高山市長と太田自治庁長官を憲法違反で提訴。 中外 11・2			2・14 衆議員引揚委で靖国神社問題を討議。	
11・1 ㊤福井周道、黒谷金戒光明寺に晋山。 中外 11・2			4・10 日本聖公会第25総会、神戸で開催、改正祈禱書の件・聖歌改訂・宣教百年記念運動実施に関する件など決議。	
11・12 ㊤金閣寺(慈照寺)と銀閣寺(鹿苑寺)両寺院の住職選定規則を成文化、金閣寺の拝観料不正事件を契機に同規則を制定。 中外 11・14			5・1 奈良国立文化財研究所、飛鳥寺を発掘。	
11・18 ㊤円山公園長楽寺の梵鐘(黄鐘調)再興(発願者・住職牧野体山、音響指導青木一郎、銘文神田喜一郎、奉賛会長坂部三次)。 中外 11・20			5・23 ビルマの第6回仏典結集完成祝賀会に長井真琴出席。	
12・1 ㊤強硬に観光税の反対を主張した9社寺(霊山観音会を除く)が市長と協議し、覚書を交換、京都市の文化観光施設税問題が解決。 中外 12・4			5・25 第4回仏教大会比叡山で開催、全一仏教の機構改革・基地反対決議の実行を決定。	
12・23 ㊤鞍馬寺のケーブルが開通。 中外 12・14			5・25 森讓、聖公会神学院院长に就任。	
			9・10 井上光貞『日本浄土教成立史の研究』。	
			10・6 文部大臣から宗教法人審議会に対し、「宗教法人法における認証、認証の取消などの制度の改善策について」諮問。	
			10・11 比叡山延暦寺で大講堂など焼失。	
			11・15 ネパールの第4回世界仏教徒会議に日本から40人参加、日本から原水爆禁止を提案可決(～22日)。	
			11・一 宮本正尊、ニューデリー一仏紀2500年式典およびユネスコ主催仏教シンポジウムに於て中道思想を講ずる。	
			12・4 内閣、無名戦士の墓を1億円の予算で建立することを決定。これについて日本遺族会は靖国神社(200万奉祀)が国庫の補助なく、8万余の遺骨にたいし国費を支出することに反対。	
			この年 ▷ 福岡県基督教連合会、県当局の提唱する宗教団体協議会(団体の指導要領を定め、県下宗教団体の指導育成を図る)を宗教統制の動きとして反対、協議会は解消。	

京	都	府
1・15 ㊤伏見稲荷神社が初めて成人祭を行なう(江馬務の解説講演を開催)。 中外 1・13		
1・18 ㊤京都社寺信用組合設立(24日開業)。 中外 2・15		
1・27 ㊤神社本教(京都近辺の民社約250社で組織)10周年記念式、出世稲荷神社で挙行。 中外 1・12		
2・16 ㊤護王神社に神道教養大学講座開設(酒井利行宮司の提唱、神道を日常生活を通じて体得することをスローガンとし時局的な問題を神道的な立場から論議する)。 中外 1・18		
3・31 ㊤世界救世教が関西地区各教会所属青年部を総合し関西青年部を組織、丸太町民青会館で発会式。4・14 にはヤサカ会館で関西地区信徒大会を開催。 中外 3・24		
3・一 ㊤嵯峨の大覚寺の錦華殿を建立(大覚寺の心経運動の拡張と華道芸術学院を中心とする嵯峨流華道の発展を図るため)。 中外 2・19		
4・2 ㊤古川大航を臨済宗妙心寺派管長に再選。 中外 4・7		
4・7 ㊤一灯園の維摩堂竣工、昭31・5 起工。 中外 2・22		
4・23 ㊤亀井日如、仏立宗本山有清寺に晋山。 中外 4・19、25		
4・29 ㊤京都の神道会有志が国民祭典委員会を結成、京都御所建礼門前で天皇誕生日を記念する祝賀祭を開催。8・15 には第2回行事として祖国復興祈願祭。 中外 5・1		
5・5 ㊤小田雪窓が、臨済宗大徳寺派管長に就任。 中外 3・15		
5・9 ㊤三十三間堂の法華千部会結願法要で、堂内の1,001体の仏に灯を献ずる千灯供養を営む(この千灯供養は戦後初めてのもの、また同法要は、千体観音像の修理を完成したため1・30 から執行)。 中外 4・24		
5・下 ㊤金光教四条教会の新会堂が四条通坊城に竣工(鉄筋平屋建で金光教最初のモダン会堂)。 中外 5・25		
7・7 ㊤京都の菓子製造卸小売業者ら「お菓子神社」の建立を計画、京都菓祖神社創建奉賛会を結成。 京都 7・8		
8・20 ㊤護王神社で和気清麿(20日)・広虫姫(21日)の命日に奉納盆踊り大会開催(～23日)、広虫姫讃仰の「子育て音頭」の新作振付も披露。 中外 8・20		
8・22 ㊤府日蓮宗寺院、京都仏教徒会議・宗教学人懇談会が協賛で原水爆禁止世界大会京都大会を円山音楽堂で開催。 中外 8・24		
8・27 ㊤京都仏教徒会議が三条大橋檀王法林寺に信仰相談所を開設。 中外 8・9		
	8・一 ㊤京都陶磁器協会をはじめ市内の関係業者、東山区五条通東大路西入ルの若宮八幡本殿わきに陶器神社設立を計画。 京都 8・2	
	8・一 ㊤嵯峨の車折神社に東映・大映・松竹らが芸能神社の創建を計画。 京都 8・30	
	9・2 ㊤日中仏教研究会・京都仏教徒会議・京都府仏教会が、10日に中国を訪問する日本仏教親善使節団の京都関係者(永野鎮雄・竹田諦亮・竹村教智・山田無文・村瀬文妙・塚本善隆)歓迎会を京大楽友会館で開催。 中外 8・24、29、9・12	
	9・12 ㊤日本釈尊正法会主催でビルマ仏教会とビルマ政府が協議し八幡町にパゴダと僧院建設の着工式挙行。 中外 9・14	
	9・27 ㊤樋口琢道没、72歳(京都における仏教的社会福祉事業に功献、相国寺塔頭慈雲院住職、和敬学園の創立者)。 中外 9・26	
	9・30 ㊤『稲荷大社由緒記集成』信仰著作篇刊行。	
	10・1 ㊤金光教の網野教会設立。金光教年表	
	10・3 ㊤四条寺町の大雲院住職佐藤順道、アイスパレスの敷地1,398坪を5,000万円で売却(当初のアイスパレス体育館が経営不振で映画館に転向し、大雲院の土地提供の趣旨にそわないため)。 中外 10・8	
	10・7 ㊤嵯峨の大覚寺、観月能を復活(～9日、明治以後中止)。 中外 10・3	
	10・9 ㊤救世軍京都小隊設立50年記念講演会、富小路四条下ルの京都小隊会館で開催。市中行進・野戦も行なう。 中外 10・9	
	10・12 ㊤嵯峨の釈迦堂清涼寺で釈尊2500年法要を執行。 中外 10・15	
	11・1 ㊤京都尼寺五山の一つ宝鏡寺の風俗人形を、京都市の文化観光祭にあたり、初公開。 中外 11・3	
	11・2 ㊤府仏具協同組合主催の京都仏具振興展を丸物百貨店で開催。 中外 11・6	
	11・16 ㊤日本仏教史学会と真宗史研究会の共催による学術大会を花園大学と大谷大学で開催。関西と関東の真宗史研究者が合流し、両学会の共同課題を研究発表する(～18日)。 中外 11・13	
	12・5 ㊤勸修寺執事長竹浪正義ら文化観光税指定17社寺が連名で、義務教育課程の中学校生徒の免税措置が文化観光税施行後も不履行のまま放置されているため高山京都市長あてに免税を要請。 中外 12・13	

参	考	日	本
		1・3	聖公会南東京教区准大聖堂成る。
		1・14	木村清松(元日基督教団巡回牧師)没(83歳)。
		3・12	日本基督教協議会全国職域伝道協議会で、マーシャル=スコット博士を講師に、工場や労働者の伝道方法を協議(～15日)。
		3・30	聖公会の松下正寿、首相使節として英国訪問に出発。
		4・30	アジア善隣運動名誉会長の安井東京都知事、セイロン仏教大学建設資金募集のためパッジ10万個を寄贈。
		5・9	日中仏教交流懇談会、日中友好協会の世話で中国人殉難者遺骨を中国に届けるため東京を出発。
		7・6	谷中天王寺の五重塔、放火心中のため全焼。
		7・14	創価学会、大阪大会で北海道炭労の学会反対決議は信教の自由への妨害と宣言。
		8・9	全日本仏教会・仏教者平和懇談会・立正平和運動共催の原爆13回忌大法要を芝増上寺で修行、中国ほか10余カ国代表参加、仏教徒宣言を発表。
		8・23	全日本仏教会、財団法人の認可をうける。
		9・10	中国仏教協会の招請により日本仏教親善使節団12人、羽田を出発。
		9・13	第5回全日本仏教徒会議、奈良東大寺で開催。
		10・2	インドのネール首相歓迎会が全日本仏教会主催で京都東本願寺で行なわれる。
		10・18	賀川豊彦らの世界連邦運動、第3回アジア会議を京都で開催(～21日)。
		11・1	原水爆禁止国際統一行動日にあたり、キリスト者平和運動協議会・同平和の会・友和会を中心に原水爆禁止を国連に訴える。
		11・2	徳富猪一郎(熊本バンド)没。

京	都	府
<p>1・20 ㊤金光教の相楽教会・東吉田教会が解散。金光教年表</p> <p>2・21 ㊤京都府神職青年会が護王神社で役員会を開催、コーラス団結成と現代青年講座開設を協議。中外 2・23</p> <p>2・25 ㊤京都市、9年間(昭31~39)の観光税収を6億円(既収分9,800万円)の予定と公表。</p> <p>3・17 ㊤大谷大学所蔵の北京版チベット大蔵経150巻を刊行し、この日、祝賀会を開催〔昭30に世界聖典刊行協会の事業として発足し、同年末にチベット大蔵経刊行会(財)を設立、会長に鈴木大拙・理事長に松村謙三が就き、大谷大学内チベット学関係者(稲葉正就・佐々木教悟ら)が編集したもの〕。中外 3・2</p> <p>3・29 ㊤京都府神職青年会、平安神宮で開催、天長祭当日御所に記帳所を開設することを決定(4・29までに市民に5,000枚のちらしがまかれ29日に記帳所を開く)。中外 4・2、29</p> <p>4・4 ㊤教行信証英文翻訳委員会設立〔委員長は鈴木大拙、副委員長は山口益(大谷大学長)、委員は杉平顕智・福原一來・坂本弘・佐々木現順・舟橋一哉・曾我量深・金子大栄・名畑応順・正親含英・稲葉秀賢・武生讓〕。中外 4・8</p> <p>4・中 ㊤日本ユナイテッドペンテコステ教団が京都で伝道開始。藤原邦夫、北区下鴨南芝町43伊藤弘方を教団本部とする。☆</p> <p>4・25 ㊤千本釈迦堂経堂本尊と六観音(重文)の解体修理に着手。馬頭観音体内から「貞応三年甲申四月二十五日書写 願主肥後前司藤原以久ノ女 大施主藤氏執事明増」と記す奥書と准胝観音体内から「貞応三年五月四日 肥後国別当定慶作」と記す銘文を発見。中外 1・14、4・27</p> <p>5・25 ㊤池坊学園(室町通り四条下ル)の校舎焼失、華道関係の貴重文献古文書16,000冊を焼失。中外 5・27</p> <p>6・14 ㊤千本釈迦堂大報恩寺の快慶作十大弟子像のうちの優婆離尊者足裏の柄に墨絵の輪鼓の図を発見。中外 7・4</p> <p>6・14 ㊤荒廃している梅宮神社で「ホタル祭」を開催、ホタル狩を行ない同社の復興をはかる(同社の祭神の嵯峨天皇・橘清友・檀林皇后が学問の神で「螢雪の功」にちなんで「ホタル祭」をはじめ)。中外 6・14</p> <p>6・中 ㊤平安神宮の弥生会(同宮での結婚挙式者の会)が機関紙を発刊(明36・7から昭33までに23,758組が挙式)。11・9に総会が開催され会員参加の写真展も開かれる。中外 6・17</p>	<p>7・25 ㊤新装になった京都国立博物館で、仏教関係の絵画・書跡など45点を陳列。中外 8・5</p> <p>8・7 ㊤8・28 東京で開催された第9回国際宗教学宗教学会議の関西地域研究調査を実施、市内古社寺研究調査と公開講演を行なう。中外 9・9</p> <p>8・8 ㊤若林正夫(仏具店主)、仏像製作の紹介映画「仏師の手」(16ミリ・白黒)を完成。中外 8・12</p> <p>8・12 ㊤第1回近畿神社庁長会議、八坂神社の常盤殿で開催、本庁制度改革問題などを協議。中外 8・14</p> <p>9・29 ㊤同志社教会が求道者一般会員のために信仰問題研究会を開催(第2回は10・23、第3回は11・14)。同志社教会90年小史</p> <p>10・10 ㊤藤巻正之編『稻荷百話』(新書判160p.)刊。</p> <p>10・17 ㊤智積院宸殿落成。中外 10・10</p> <p>10・27 ㊤本能寺(法華宗本門流大本山)本坊のビルディングを同寺境内に藤川学園と共有の建物として建設、この日、起工式を挙行。中外 10・29</p> <p>11・6 ㊤府警、伏見稲荷神社における財政面の不正事件について同神社社務所等を搜索。内紛つづく(〜昭37春)。中外11・8、15、12・14</p> <p>11・12 ㊤杉本日考、本門法華宗大本山妙蓮寺に晋山。中外 11・14</p> <p>11・14 ㊤仏教史研究会(中京区東洞院三条上ル)と真宗史研究会(竜谷大学内)が、第3回真宗史研究会を竜谷大学で、15日第10回仏教史研究会を京都大楽友会館で、それぞれ開催。中外 11・13</p> <p>11・24 ㊤洛東妙法院が、三十三間堂東大門の建立上棟式を挙行。中外 11・5</p> <p>この年 ▷ ㊤深草の公園墓地完成。中外 8・21</p>	

参	考	日	本
		2・1	歴史学者を中心に紀元節問題懇談会結成、紀元節復活反対を声明。
		3・1	創価学会、大石寺に大講堂を完成。
		4・2	創価学会会長戸田城聖没(58歳)。
		4・22	昭31以来文部省が宗教法人審議会に諮問していた宗教法人法の改正についての答申案発表(認証の基準を設けること・認証の取消しは1年後も可・役員は近親でないこと・調査報告の明確化など)。
		6・7	東京都下大学仏教青年会議を本郷公会堂で開催。
		6・14	第6回全日本仏教徒会議、東京の浅草寺で開催。
		6・18	ブラジル日本移民50年祭祝典に東本願寺新門主大谷光紹・重永潜、臨席。
		7・15	ランベス会議に八代斌助・上田一良・野瀬秀敏・黒瀬保郎の4主教出席。
		8・6	キリスト教教育世界大会が世界64カ国代表の参加で日本で開催。
		8・27	第9回国際宗教学宗教学会議、東京を中心に開催(〜9・9)。
		9・30	日本キリスト教団の総会で警職法反対を決議(10・4 宗教学懇談会、11・10 仏教者平和協議会なども)。
		9・一	聖公会各教区、宣教百年記念集中伝道実施(〜昭44.2)。
		9・一	宮本正尊シカゴ大学に於て「大乘仏教と中道思想」を講ず。またコロムビア大学に於て「時と永遠」を講ずる。
		11・11	日本キリスト教主義学校教職員組合連合会が「警職法改正案は人間の尊厳と自由をおびやかす恐れがある」と反対声明。
		11・12	日本聖公会全国教役者大会、箱根で開催。
		11・24	第5回世界仏教徒会議、タイで開催。
		この年	▷ 保積ヒサ、塩釜市の仙台教会を改組し、大和教団とする。

京	都	府
1・4 ㊤御嶽隆道(真言宗智山派前管長)没(75歳)。 中外 1・7	4・1 ㊤真言宗智山派千本釈迦堂所蔵の国宝六観音像胎内経巻8巻を重要文化財に指定。 中外 4・9	
1・12 ㊤護王神社で京都府神職青年会役員会開催、この年度の事業として神社合唱団の結成・神道資料展の開催・紀元節法制化促進のための特別講演会開催・皇太子御成婚祝賀行事などの計画案を作成。1・22の総会で原案可決。 中外 1・17	5・6 ㊤西山浄土宗、岩田善如を管長に選出(26日没)。 中外 5・8、28	
1・20 ㊤竹田益州を建仁寺派管長に再選。 中外 1・23	5・1 ㊤仏教大学教授会、稲垣真我を学長に再選。 中外 5・8	
1・27 ㊤左京区吉田神社参道筋の須賀神社内に交通神社設立(1・31鎮座、2・1から旅行安全のお守などを授与)。 中外 2・3	6・26 ㊤京都市が壬生寺内に老人憩いの家を設立、律宗壬生寺の住職松浦融海が管理。 仏教年鑑 昭44	
2・7 ㊤西本願寺、大遠忌記念会館別館(門徒宿泊所)と膳所の上棟式を挙行。 中外 2・8	6・1 ㊤竜谷大学拡充委員会、大学名の改称と商経学部増設を検討。 中外 6・14	
2・7 ㊤西本願寺、工場労働者と都市サラリーマンへの布教を行なうため、工場労働者と第1回の会合をもつ。また布教研究所に理論と実際を研究するよう指示する。 中外 2・12	7・1 ㊤浄土宗合同についての制度調査会、京都華頂会館において開催(宗綱および宗制を承認、専門委員会を結成し、細則を作成することに決定)。 中外 7・3	
2・21 ㊤黄檗宗定期宗会、黄檗山の拝観料(1人20円)徴集を可決。 中外 2・25	7・1 ㊤左京区下鴨宮崎町の迦陵園にろうあ児を收容し、びんが寮を再開。 仏教年鑑 昭44	
2・22 ㊤「聖書のない人に聖書を贈る」運動を続ける日本家庭聖書会が京都支部を結成(すでに全国に21万冊をくばる)。 中外 2・20	7・8 ㊤西本願寺、本願寺会館起工式を挙行。 中外 7・10	
2・1 ㊤アイオア大学宗教学教授 マルクス=バッハが宗教事情視察のために来日、同志社大学でも講演。 中外 2・13	7・10 ㊤左京区の須賀神社、交通安全デーに二条城南広場へ同社祭神を出座させ大祓神事を執行。百数十台の自動車が茅の輪くぐりをする。 中外 7・7	
2・1 ㊤京都市理財局、文観税実施後2年を経過したが徴収実績があがらぬため課税対象社寺の拡張を検討(昭32年度予算額7,745万円・決算額6,669万円、昭33年度予算額7,920万円・決算見込7,100万円前後)。 京都 2・1	7・1 ㊤鞍馬寺多宝塔再建工事完成。 中外 8・5	
3・3 ㊤香西大見(北野天満宮宮司)が京都府神社庁長に就任。 中外 3・5	8・2 ㊤浄土宗西山各派、比叡山上に法然堂の新築上棟式を挙行。 中外 9・11	
3・5 ㊤嵯峨水尾町の浄土宗円覚寺が老人ホームの寿楽園から分離して清和園(社)を設立。	8・12 ㊤真言宗智山派管長倉持秀峰退任。第58代真言宗智山派管長に松平実亮就任、10・21晋山式。 中外 8・11、26	
4・1 ㊤全日本仏教会主催の釈尊2500年記念祝典京都大会が西本願寺阿弥陀堂で開催、各宗管長・海外代表・各宗大学、高校、小学校代表など約1,000人参加。 中外 1・24、4・2	8・28 ㊤西本願寺国宝白書院・鴻ノ間の解体修理工事を完了。 中外 8・29	
4・1 ㊤臨済宗妙心寺、開山無相大師600年大遠諱法会厳修(～15日)。 中外 4・1	8・30 ㊤天台寺門宗管長松田俊雄没、85歳。 中外 9・2	
4・1 ㊤臨済宗天竜寺派、寺院の相互扶助を目的に共済制度を実施。 中外 4・26	9・8 ㊤下鴨神社が地元の結婚関係業者と「葵クラブ」を結成、衣裳・菓子・美容・料理・写真・タクシー会社などが参加、挙式数の倍増をはかる。 中外 昭36・2・17	
4・11 ㊤知恩院常置委員会、知恩院の観光寺院化を承認。 中外 4・12	9・23 ㊤キリスト教日本宣教百年記念京都大会(～24日。京都・滋賀基督教協議会主催)。席上信仰生活50年以上の者を表彰。 同志社教会90年小史	
4・13 ㊤藤巻宮司の退陣を要求している伏見稲荷神社の氏子役員が大祭供奉中止を決議、その旨を奏告する特別祭典を執行。 中外 4・15	9・26 ㊤伊勢湾台風による京都市内古社寺の被害推定5,000万円、西本願寺飛雲閣土塀・智積院唐門など倒壊、各教団見舞班を被災地に派遣。 中外 9・29	
	9・30 ㊤西本願寺、風水害地救援対策本部を設置し、義捐金品募集運動を開始。 中外 10・1	

京	都	府	日	本
9・1 ㊤宇治黄檗山宝蔵院、鉄眼版一切経版木6万枚の収蔵庫建設にあたり、10万人合力運動により工費の半額を勸募することに決定。 中外 9・9	9・1 ㊤真言宗醍醐寺、開山理源大師1500年遠忌記念事業として、醍醐寺仏教文化研究所(財)を設立し、同寺所蔵の古文書研究を行なうことに決定。 中外 9・15		1・30 自民党、宗教法人問題特別委員会設置(この頃、伊勢神宮の非宗教法人化や靖国神社国家保護の動き活発化)。	
10・1 ㊤西本願寺、本山宗務所内に伊勢湾台風災害対策本部を設置し、救援活動開始を決定。 中外 10・3	10・11 ㊤東映で映画「親鸞」の製作を決定、真宗10派全面的に支援を申合わす。 中外 10・9		3・27 釈尊2500年を賛える会、東京で開催(アジア12カ国の代表44人が参加)。	
10・11 ㊤東映で映画「親鸞」の製作を決定、真宗10派全面的に支援を申合わす。 中外 10・9	10・12 ㊤臨済宗南禅寺派管長嶋田菊麿没、88歳。 中外 10・14		3・1 千鳥ヶ淵戦没者墓苑完成(厚生省所管)。	
10・23 ㊤知恩院、音楽法要用に電気オルガンを大殿に新設。 中外 10・23	10・23 ㊤知恩院、750万霊塔完成落慶法要。 中外 11・26		4・7 日本聖公会宣教100年記念大会、東京で開催(英国カンタベリー大主教フィッシャーら各国聖公会指導者60人来日)。	
10・1 ㊤西本願寺、本山宗務所内に伊勢湾台風災害対策本部を設置し、救援活動開始を決定。 中外 10・3	11・6 ㊤浄土宗制度調査会、本派浄土宗(知恩院)と浄土宗の合同についての新宗制の草案作成を終わり解散に決定。 中外 11・8		4・1 神宮奉賛会、伊勢神宮国営化の神宮制度改正要綱を発表。	
10・11 ㊤東映で映画「親鸞」の製作を決定、真宗10派全面的に支援を申合わす。 中外 10・9	11・15 ㊤同志社教会、教会周辺に家庭に対し訪問伝道を実施。 同志社教会90年小史		5・12 大阪クリスチャン=クルセード超教派大伝道集会、大阪で開催(～6・1)。	
10・12 ㊤臨済宗南禅寺派管長嶋田菊麿没、88歳。 中外 10・14	11・15 ㊤金光教宣教100年祭ならびに京都大会を京都市公会堂で開催(参加者数1,000人)。 金光教年表		5・22 インドネシアのジャカルタ市ボロブドゥル寺院執行のウェサカ祭に木村義祐が出席。	
10・23 ㊤知恩院、音楽法要用に電気オルガンを大殿に新設。 中外 10・23	11・26 ㊤知恩院、750万霊塔完成落慶法要。 中外 11・26		7・4 雑司ヶ谷霊園に3階建のくお墓のアパート>落成。	
10・1 ㊤大原三千院の拝観区域と期間を限定し、参観者からの文化観光税徴収を決定。 中外 10・4	11・26 ㊤知恩院、750万霊塔完成落慶法要。 中外 11・26		8・31 西本願寺から離脱した熊本35カ寺が、熊本教団を結成。	
11・6 ㊤浄土宗制度調査会、本派浄土宗(知恩院)と浄土宗の合同についての新宗制の草案作成を終わり解散に決定。 中外 11・8	11・1 ㊤西本願寺布教研究所、教化と募財についての末寺の実態予備調査の結果を集計。時代即応の布教体制確立、門徒請金と賦課金の一本化の要望などがあきらかとなる。 中外 11・15		9・24 NHKテレビ、はじめて比叡山延暦寺彼岸会法要を中継。	
11・15 ㊤同志社教会、教会周辺に家庭に対し訪問伝道を実施。 同志社教会90年小史	11・15 ㊤金光教宣教100年祭ならびに京都大会を京都市公会堂で開催(参加者数1,000人)。 金光教年表		10・23 第7回全日本仏教徒会議、京都知恩院で開催。	
11・15 ㊤金光教宣教100年祭ならびに京都大会を京都市公会堂で開催(参加者数1,000人)。 金光教年表	11・1 ㊤故田島隆純(大正大教授)の遺著『両部曼荼羅及び密教々理』(仏文)を出版決定。		11・5 靖国神社、90周年の大祭を行なう(明2東京招魂社創立以来240万柱祭神をまつる)。	
11・26 ㊤知恩院、750万霊塔完成落慶法要。 中外 11・26	11・1 全日本仏教会、全日本仏教徒会議で決議された世界平和とアピール宣言を62の在日外国大使館などに送付。		11・9 中山玄秀(天台座主・比叡山延暦寺住職)没(81歳)。新座主に滋賀院門跡即真周湛が就任。	
11・1 ㊤西本願寺布教研究所、教化と募財についての末寺の実態予備調査の結果を集計。時代即応の布教体制確立、門徒請金と賦課金の一本化の要望などがあきらかとなる。 中外 11・15	12・7 日本基督教団宣教研究所、安保条約改定問題に関する声明書を発表。		この年	
12・9 ㊤西本願寺、昭36の親鸞聖人700回大遠忌を契機とし教団の発展をはかるべく、大遠忌親鸞聖人鑽仰会の発足を正式決定。 中外 12・10	この年		▷ 賀川豊彦・椎尾弁匡・朝比奈宗源ら、教育の正常化を文部省・日教組に申入れ。	
12・15 ㊤臨済宗南禅寺派、南禅僧堂師家柴山全慶を管長に選出。 中外 12・16	この年		▷ 日米安保条約の改定については、宗教界の多くは政治問題であるとの理由で無関心を装っているが、仏教者平和協議会・キリスト教平和の会・人類愛善会・丸山教・日本山妙法寺・キリスト者矯風会・日本基督教団宣教研究者・東大YMCAなど平和運動の一環として批判的態度を示す。	
11・1 ㊤西本願寺布教研究所、教化と募財についての末寺の実態予備調査の結果を集計。時代即応の布教体制確立、門徒請金と賦課金の一本化の要望などがあきらかとなる。 中外 11・15	▷ ㊤春、在日大韓キリスト教京都教会が織田楯次牧師らにより右京区西院矢掛町に建立。 中外 4・24			
12・9 ㊤西本願寺、昭36の親鸞聖人700回大遠忌を契機とし教団の発展をはかるべく、大遠忌親鸞聖人鑽仰会の発足を正式決定。 中外 12・10	▷ ㊤秋、同志社教会青年会員21人、伊勢湾台風被害者のために奉仕。名古屋駅で救援物資の運搬作業や国立療養所で奉仕。 同志社教会90年小史			

京 都 府	
1・4 ㊤日蓮本宗大本山要法寺(左京区孫橋通新高倉)客殿全焼、日蓮上人の木像など4体を焼失。 中外 1・6	一行動に参加(同学部は全国で唯一の全学連加盟キリスト教系学科)。 中外 6・4
1・13 ㊤宗教的平和運動家アンソニー=ブルックス(ボルネオ生まれの英人)が同志社大学アームストロング館で講演。 中外 1・13	6・13 ㊤京都華頂会館別館において本派浄土宗(本山知恩院)と浄土宗(本山増上寺)の両宗が寺院大会を開催。門主推戴委員会に対し合同への努力を要望。 中外 6・15
1・26 ㊤全日本仏教会主催の全国宗務総長会議、東山華頂会館別館で開催。 毎日年鑑 昭36	6・一 ㊤栗田口將軍塚山上から平安時代末期の礫経発見。 中外 6・28
1・一 ㊤醍醐寺五重塔(国宝)解体修理を終了(昭29・11から解体修理、工費5,070万円)。 中外 1・14	7・下 ㊤大徳寺の総合調査を文部省科学研究助成費により開始。 中外 7・6
1・一 ㊤日本ユナイテッド=ペンテコステ教団、宇治に伝道を開始、宇治市開町8の2に会堂を建設し宇治福音教会と名のる。同時に幼稚園グレイス園(90人収容)を開設。 ☆	8・12 ㊤西本願寺の大谷真新門主得度式を執行(法号即如、法名光真)。 中外 8・13
1・一 ㊤京都府下神職の雅楽研究部結成、神社庁京都支部雅楽研修部と名のる。 中外 2・6	8・20 ㊤京大生による広隆寺の弥勒菩薩像の指折損事件おきる。 府政だより資料版 43
2・5 ㊤京都仏教徒会議、京大楽友会館で安保問題に関する研究討論を行なう。完全非武装・戦争放棄こそ仏教精神につながるとし、批准反対の結論を出し、声明文発表を決定。 中外 2・7	8・一 ㊤西山短期大学、『西山学報』を復刊。 中外 8・10
2・16 ㊤西山禅林寺派管長に現管長伊藤隆範を再選。 中外 2・18	9・3 ㊤禿氏祐祥没、81歳(竜谷大学名誉教授、文博)。 中外 9・4
2・一 ㊤村雲御所瑞竜寺、日蓮宗からの離脱を通告する。 中外 2・13	9・29 ㊤西本願寺本山内に、新興宗教対策委員会の設置を決定。 中外 10・1
4・2 ㊤仏教図書館協会総会を大谷大学で開催し同協合作製の仏教図書共通分類表を紹介。 中外 4・5	10・2 ㊤京都府綴喜郡円福寺僧堂(臨濟宗妙心寺派)、外人専用禅堂として復活。 中外 10・2
4・3 ㊤清水八幡宮、創建1100年祭を挙行。 毎日年鑑 昭36	10・25 ㊤西本願寺、大遠忌予算を更正し、1億3,000万円の増額を決定。 中外 10・27
4・16 ㊤鞍馬弘教総本山鞍馬寺、170年ぶりに多宝塔が完成し、仁王門落慶をかねて法要を行なう。 同上	10・29 ㊤京都本能寺会館で第7回京都仏教徒会議を開催、現代が仏教に求めているものは何かを主題に討論を行なう。 中外 10・21
4・23 ㊤大本山金戒光明寺、法然上人750年大遠忌法要を執行(～25日)。 中外 4・26	10・一 ㊤京都在住の若手仏教史研究者、時宗文化研究会を結成。
4・一 ㊤仏教大学、一般社会の仏教についての関心を深めるために、ラジオによる通信教育「仏教大学アワー」の実施を企画。 中外 4・6	11・12 ㊤律宗壬生寺の円覚上人650年遠忌記念事業として壬生狂言を演ずる壬生会館の増築工事を完成し、落慶法要を執行。 中外 11・8
4・一 ㊤佐藤昌義(洛陽教会牧師)、現職を辞し東京で開拓伝道を開始、武蔵野市に伝道所を開設。 中外 3・18	11・22 ㊤浄土宗教学院・仏教文化研究所、仏教大学において第6回浄土教学大学を開催。50教人が研究成果を発表(～23日)。 中外11・18、23
5・9 ㊤京都仏教徒会議、国会へ新安保条約内閣批准反対請願書の提出を決定。 中外 5・13	11・26 ㊤真言宗各派総本山会の密教学芸賞第2回授賞式を智積院で挙、鈴木智弁・那須政隆・堂本印象が受賞。 中外 11・29
5・10 ㊤同志社教会、上京区相国寺南門前町636番地の民家を購入し「教会の家」とする。 同志社教会90年小史	12・15 ㊤竜谷大学、親鸞聖人大遠忌記念として同大学論集『親鸞聖人研究』を発刊、37篇の記念論文を登載。 中外 12・10
5・一 ㊤京都仏教徒会議、仏教現代化専門委員会を設置、仏教生活読本などの刊行を計画。 中外 5・11	12・15 ㊤西山学会、西山短期大学において発会式を挙、三浦一道を会長に選出。 中外 12・17
6・4 ㊤同志社大学神学部学生、安保反対統	12・一 ㊤竜谷大学大遠忌記念事業として『正信偈』の英訳を訳了する。 中外 12・18
	12・一 ㊤大徳寺境内の瑞雲軒を外国人禅研究者の寄宿舎として日米第一禅協会に寄贈。 中外 12・8
	この年 ▷ ㊤パウル=テイリッヒ博士、同志社教会を訪問「時と永遠」と題して講演、会衆1,000人。 同志社教会90年小史

参 考	日 本
	1・15 東京で仏教者平和協議会を中心とした仏教徒の新安保反対デモ行なわれる。
	3・1 ワールドビジョン(「世界の幻」、本部ニューヨーク)主催の国際超教派教役者大会、箱根小湧園で開催(52教派の教職・独立伝導者1,600人参加)。
	3・8 厚生省、正当な理由なく創価学会員などの埋葬を拒否できない旨通達。
	3・28 土井辰雄(日本カトリック東京教会大司教)、ローマ法王庁から枢機卿に任命され、この日親任式(日本人で初めて)。
	4・23 賀川豊彦没(71歳)。
	5・18 新安保批准反対請願緊急人類愛善会会員大会開催、決議文を清瀬衆議院議長に手交。
	5・20 末明、衆議院本会議で新安保条約・協定を強行採決(6・23批准書交換・発効)。
	5・20 日本婦人団体連合会・新安保批准阻止キリスト者会議・日本YMCA・新安保反対関西各懇談会など各界で強行採決反対・岸首相退陣・国会解散を求めて声明。
	5・29 第8回全日本仏教徒会議、金沢市で開催。
	6・10 大谷瑩潤(参議院議員、真宗大谷派)、仏教の立場から新安保条約改定に反対し、自民党を脱して同志会に入る。
	7・10 奈良県大峰山竜泉寺、1,300年間女人禁制の境内を開放。
	8・8 神・仏・キリスト教の保育事業関係者、日本宗教保育事業協議会結成しこの日東京で第1回の会合を開き協議(寺院・神社・教会経営の幼稚園・保育所が宗教法人から学校・社会福祉法人に切換えられるとの予想から)。
	8・8 神職兼職教職員協議会結成(神官で教員を兼ねる者約100人が東京青年文化会館に集まり「神明に徹し日本教育の中正」をスローガンに結成)。
	この年 ▷ PL教団御木徳近の『人生は芸術である』、ベストセラーとなる。 ▷ 新安保条約改定について宗教界には賛否両論の動き(6・18、仏・基・大本3者発起で「民主主義擁護宗教者の会」を結成し安保批判の会や国民会議に加わり反民主的な国会の解散要求を行なう。神社本庁・生長の家、安保促進に協力。創価学会、衆議院で自民党の単独採決に反対する無所属クラブの推進役を果たす。全日本仏教会は金沢大会で態度保留。